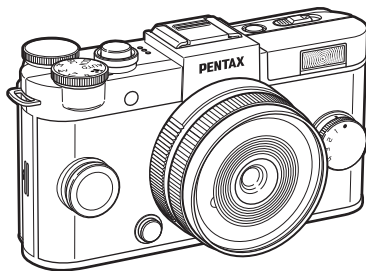


RICOH

デジタル一眼カメラ

PENTAX Q-S1

使用説明書



基礎知識 1

準備 2

撮影 3

再生 4

設定 5

付録 6

カメラの正しい操作のために、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

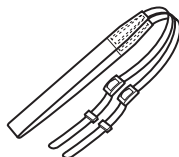
同梱品を確認しましょう



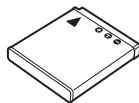
ホットシューカバー Fk
(カメラ装着)



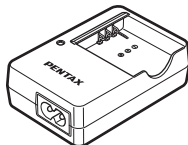
Qボディマウントカバー
(カメラ装着)



ストラップ
O-ST131



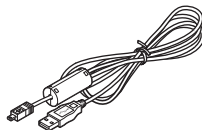
充電式リチウムイオン
バッテリー D-Li68



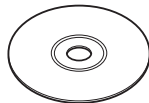
バッテリー充電器
D-BC68P



ACコード
D-C02J



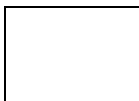
USBケーブル
I-USB7



ソフトウェア (CD-ROM)
S-SW151



スタートガイド



保証書

PENTAX Q-S1で利用できるレンズ

本機で利用できるレンズは、Qマウントレンズです。別売のKマウントレンズ用アダプターQを利用すると、Kマウントレンズも取り付けることができます。(p.74)

PENTAX Q-S1の基礎知識

1

準備しましょう

2

いろいろな写真を撮影してみましょう

3

いろいろな再生と編集

4

設定を変更する

5

付録

6

1

PENTAX Q-S1の基礎知識 p.7

PENTAX Q-S1の全体像を紹介しています。
まずここを読んでQ-S1を知ろう！

- ☐ 各部の名称と機能 p.7
- ☐ 機能の設定方法 p.13
- ☐ メニュー一覧 p.15

2

準備しましょう p.21

Q-S1を使えるようにするための準備と基本操作を説明しています。

- ☐ ストラップの取り付け p.21
- ☐ レンズの取り付け p.21
- ☐ バッテリーのセット p.22
- ☐ メモリーカードのセット p.25
- ☐ 初期設定 p.26
- ☐ 撮影のキホン p.28
- ☐ 画像の確認 p.29

3

いろいろな写真を撮影してみましょう ..p.30

カメラが正しく動作することが確認できたら、
たくさん写真を撮ってみよう！

- ☐ 撮影モードを選ぶ p.30
- ☐ 露出を設定する p.35
- ☐ フラッシュを使う p.36
- ☐ ピントを合わせる p.37
- ☐ ドライブモードを設定する p.40
- ☐ 記録形式を設定する p.45
- ☐ 色味と明るさを設定する p.45
- ☐ 仕上がりイメージを決めて撮影する p.48

いろいろな再生と編集..... p.52

いろいろな再生方法と画像編集を説明しています。

- ☐ 再生モードパレットの設定項目 p.52
- ☐ 再生方法を変更する p.53
- ☐ パソコンと接続する p.57
- ☐ 画像を加工・編集する p.58

設定を変更する p.64

その他の設定変更を掲載しています。

- ☐ カメラの設定 p.64
- ☐ 画像管理に関する設定 p.68

付録 p.71

資料を掲載しています。

- ☐ 撮影モードの機能制限 p.71
- ☐ 各種レンズ使用時の機能 p.74
- ☐ 外付けフラッシュ利用時の機能 p.76
- ☐ 困ったときは p.77
- ☐ 主な仕様 p.80
- ☐ 索引 p.86
- ☐ ご注意ください p.90
- ☐ 取り扱い上の注意 p.91
- ☐ アフターサービスについて p.94

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

本書の使い方2

PENTAX Q-S1 の基礎知識 7

各部の名称と機能7

ボタン・ダイヤル・レバー 8

画像モニターの表示 9

機能の設定方法13

ダイレクトキーで設定する13

コントロールパネルで設定する13

メニューで設定する14

メニュー一覧15

撮影メニュー15

動画メニュー17

再生メニュー17

詳細設定メニュー18

カスタムメニュー20

準備しましょう21

ストラップの取り付け21

レンズの取り付け21

バッテリーのセット22

バッテリーを充電する22

バッテリーを入れる23

ACアダプターを使用する24

メモリーカードのセット25

初期設定26

電源を入れる26

言語を設定する26

日時を設定する27

メモリーカードをフォーマットする27

撮影のキホン28

画像の確認29

いろいろな写真を撮影してみましょう....30

撮影モードを選ぶ30

シーンモード30

ボケコントロールモード31

露出モード32

動画モード34

露出を設定する35

ISO感度35

測光方式35

フラッシュを使う36

ピントを合わせる37

フォーカスモード37

オートフォーカスの方法を設定38

マニュアルでピントを調整（マニュアルフォーカス）39

ドライブモードを設定する40

連続撮影41

セルフタイマー撮影41

リモコン撮影42

露出ブラケット42

多重露出43

インターバル撮影43

インターバル動画44

記録形式を設定する	45	お気に入り画像の設定を登録する	66
静止画	45	目的地の日時を表示する	67
動画	45	カメラに保存する設定を選択する	67
色味と明るさを設定する	45	画像管理に関する設定	68
ホワイトバランス	45	画像を消去できないようにする（プロテクト）	68
明るさを補正して撮影	47	フォルダー／ファイルNo.の設定	68
仕上がりイメージを決めて撮影する	48	画像を無線LANで転送する	69
カスタムイメージ	48		
デジタルフィルター	49	付録	71
よく使う機能をクイックダイヤルに登録	50	撮影モードの機能制限	71
いろいろな再生と編集	52	特殊機能の組み合わせ制限	73
再生モードパレットの設定項目	52	各種レンズ使用時の機能	74
再生方法を変更する	53	Kマウントレンズを利用する	75
複数画像を表示する	53	外付けフラッシュ利用時の機能	76
フォルダーごとに表示する	54	困ったときは	77
撮影日ごとに表示する	54	エラーメッセージ	78
連続して再生する（スライドショー）	55	主な仕様	80
画像を回転して表示する	55	USB接続と付属ソフトウェアの動作環境	85
AV機器と接続する	56	索引	86
パソコンと接続する	57	ご注意ください	90
画像を加工・編集する	58	取り扱い上の注意	91
画像のサイズを変更する	58	アフターサービスについて	94
赤目を補正する	59		
デジタルフィルターで加工する	59		
複数画像を貼り付ける（インデックス）	61		
動画の編集	62		
RAW展開	63		
設定を変更する	64		
カメラの設定	64		
○／●の機能を設定する	64		

著作権について

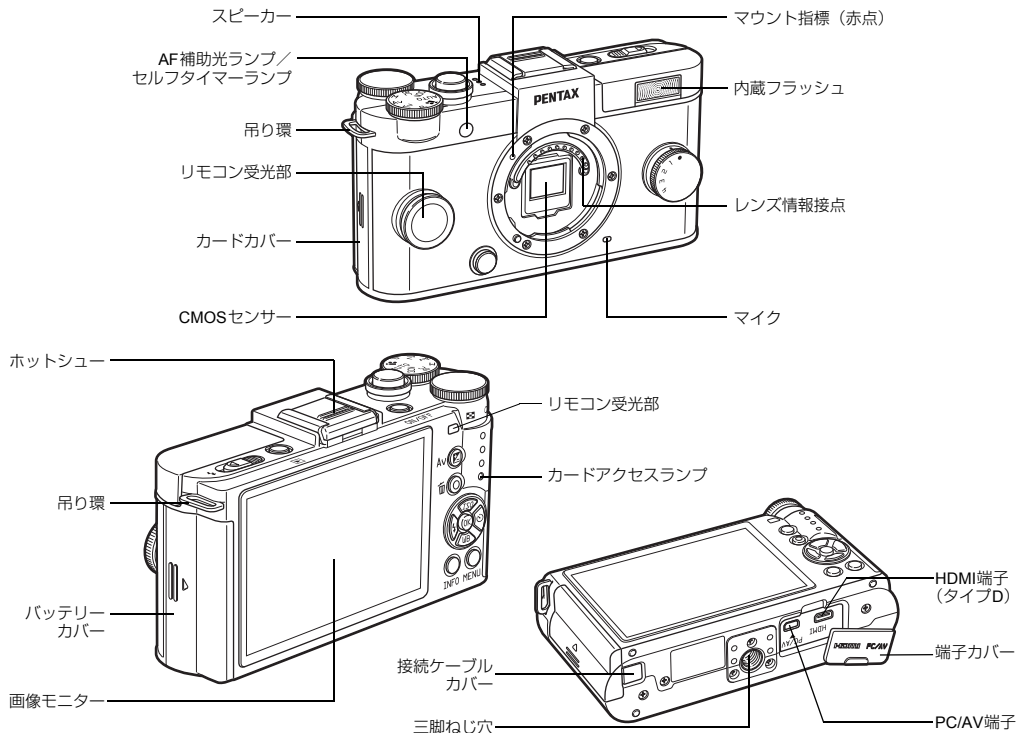
本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの場合は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

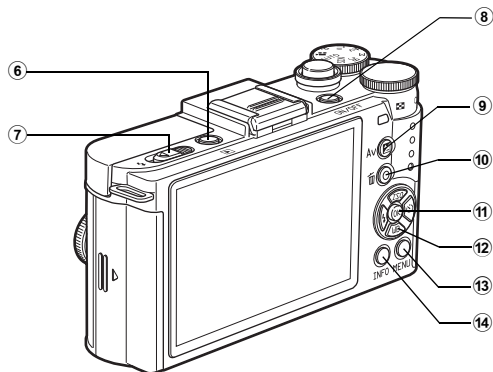
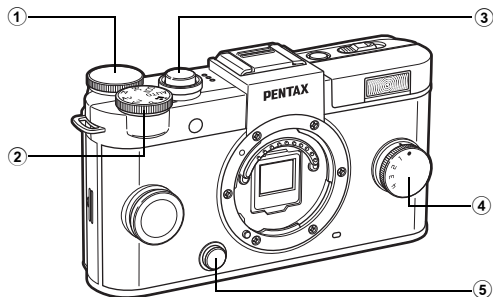
- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

各部の名称と機能



ボタン・ダイヤル・レバー



- ① **電子ダイヤル (●)**
シャッター速度／絞り値／露出補正値を設定します。
(p.32)
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。(p.13)
メニューが表示されているときは、タブを切り替えます。
(p.14)
再生時には、画像を拡大／複数画像表示します。(p.53)
- ② **モードダイヤル**
撮影モードを切り替えます。(p.28)
- ③ **シャッターボタン**
画像を撮影します。(p.28)
再生時は、半押しで撮影モードに切り替わります。
- ④ **クイックダイヤル**
お好みの撮影設定を登録し、簡単に呼び出すことができます。
(p.50)
- ⑤ **レンズ取り外しボタン**
レンズを取り外すときに押します。(p.21)
- ⑥ **再生ボタン (⏮)**
再生モードに切り替えます。(p.29) もう一度押すと撮影モードに切り替わります。
- ⑦ **フラッシュポップアップレバー**
内蔵フラッシュをポップアップします。(p.36)
- ⑧ **電源ボタン**
電源のON／OFFをします。(p.26)
- ⑨ **露出補正ボタン (⊕)**
露出補正値や絞り値を変更するときに押します。(p.32)
再生時は、撮影バッファに残っているJPEG形式の画像をRAW形式で追加保存します。(p.29)

⑩ グリーン／消去ボタン (○/■)

設定中の値をリセットします。機能を割り当てて使用することもできます。(p.64)

再生時は、画像を消去します。(p.29)

⑪ OKボタン (OK)

コントロールパネル／メニューが表示されているときに、選択した項目を決定します。

⑫ 十字キー (▲▼◀▶)

ISO感度／ホワイトバランス／フラッシュモード／ドライブモードの設定画面を呼び出します。(p.13)

コントロールパネル／メニューが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。

再生時に▼を押すと、再生モードパレットを表示します。(p.52)

⑬ MENUボタン (MENU)

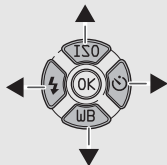
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。(p.14)

⑭ INFOボタン (INFO)

画像モニターの表示を切り替えます。(p.9、p.11)

十字キーについて

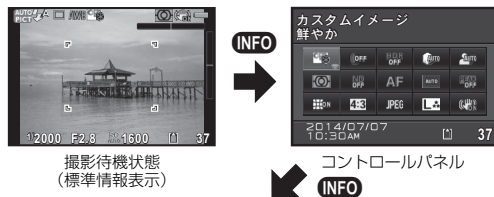
本書では、十字キーを右のように表記します。



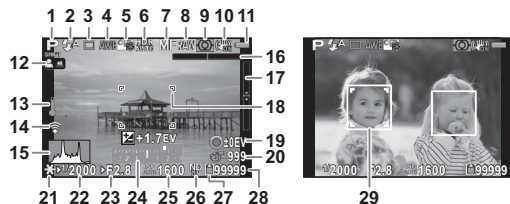
画像モニターの表示

撮影時

撮影時には、画像と撮影機能の設定値が表示されます。この状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で **INFO** を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。(p.13) コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。(p.11)



撮影待機状態



- | | |
|---|--|
| 1 撮影モード (p.30) | 15 ヒストグラム |
| 2 フラッシュモード (p.36) | 16 電子水準器 (左右方向) (p.16) |
| 3 ドライブモード (p.40) | 17 電子水準器 (前後方向) (p.16) |
| 4 ホワイトバランス (p.45) | 18 AFフレーム |
| 5 カスタムイメージ (p.48) | 19 リセット操作ガイド |
| 6 HDR 撮影 (p.47) / デジタルフィルター (p.49) | 20 インターバル撮影/多重露出 (p.43) / スマートエフェクト (p.51) |
| 7 MFモード | 21 AEロック |
| 8 記録形式 | 22 シャッター速度 |
| 9 測光方式 (p.35) | 23 絞り値 |
| 10 Shake Reduction (p.16) / Movie SR (p.17) | 24 露出バー |
| 11 バッテリー残量 | 25 ISO感度 (p.35) |
| 12 MFモードピントリング操作中 (p.39) | 26 NDフィルター (p.16) |
| 13 温度警告 | 27 メモリーカード |
| 14 Eye-Fi通信状態 | 28 撮影可能枚数 |
| | 29 AF方式「顔検出」の顔検出枠 (p.38) |

メモ

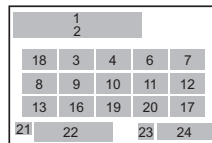
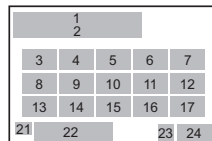
- カメラの設定状況によって、表示される項目が異なります。
- カメラメニュー「ライブビュー」で、撮影待機状態で表示する内容が変更できます。(p.16)

コントロールパネル

カメラモード



露出モード



- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1 機能名称 | 10 フォーカスモード (p.37) |
| 2 設定 | 11 AF方式 (p.38) |
| 3 カスタムイメージ (p.48) / SCNモード (p.30) | 12 フォーカスアシスト (p.39) |
| 4 デジタルフィルター (p.49) | 13 ディストーション補正 (p.16) |
| 5 HDR撮影 (p.47) | 14 アスペクト比 (p.45) |
| 6 ハイライト補正 (p.47) | 15 記録形式 (p.45) |
| 7 シャドー補正 (p.47) | 16 JPEG記録サイズ・画質 (p.45) / 動画記録サイズ (p.45) |
| 8 測光方式 (p.35) | |
| 9 NDフィルター (p.16) | |

- 17 Shake Reduction (p.16) 21 目的地 (p.67)
 / Movie SR (p.17) 22 現在の日時
 18 露出設定 (p.34) 23 メモリーカード
 19 フレームレート (p.45) 24 撮影可能枚数/記録可能
 20 録音レベル (p.17) 時間

メモ

- カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- コントロールパネルは何も操作しないと、1分で撮影待機状態に戻ります。
- 1メニュー「画面表示」でコントロールパネルとメニューの配色が変更できます。(p.18)

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に **INFO** を押すと、撮影待機状態の表示情報が選択できます。◀▶ で選択して **OK** を押します。

標準情報表示	画像と撮影機能の設定値を表示
情報表示なし	画像だけを表示
画像モニターオフ	画像モニターを非表示

注意

- 1メニューのときは、「画像モニターオフ」は選択できません。

再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。

INFO を押すと、1画像表示中の表示情報を変更できます。◀▶ で選択して **OK** を押します。

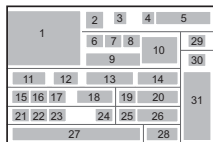


標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示 (p.12)
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示 (p.12) 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム表示	画像とRGBヒストグラムを表示 (p.12) 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

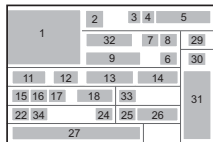
メモ

- 電源を入れ直して再生モードにすると、再生情報表示選択で選択した画面が表示されます。3メニュー「モードメモリ」の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標準情報表示」から表示されます。(p.67)

静止画



動画

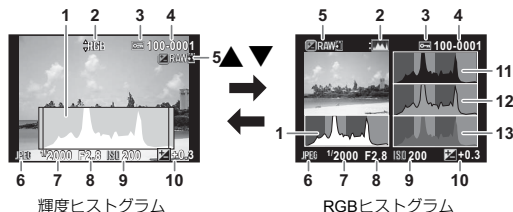


- 1 撮影画像
- 2 撮影モード (p.30)
- 3 Eye-Fi転送済み (p.69)
- 4 プロテクト (p.68)
- 5 フォルダー No.-ファイルNo. (p.68)
- 6 ドライブモード (p.40)
- 7 測光方式 (p.35)
- 8 Shake Reduction (p.16) / Movie SR (p.17)
- 9 レンズ焦点距離
- 10 フォกัสモード (p.37)
- 11 シャッター速度
- 12 絞り値
- 13 ISO感度 (p.35)
- 14 露出補正
- 15 ハイライト補正 (p.47)
- 16 シャドウ補正 (p.47)
- 17 ディストーション補正
- 18 スマートエフェクト (p.51)
- 19 フラッシュモード (p.36)
- 20 フラッシュ光量補正
- 21 記録形式 (p.45)
- 22 JPEG記録サイズ (p.45) / 動画記録サイズ (p.45)
- 23 JPEG画質 (p.45)
- 24 NDフィルター (p.16)

- 25 ホワイトバランス (p.45)
- 26 ホワイトバランス微調整
- 27 撮影日時
- 28 色空間
- 29 HDR撮影 (p.47) / デジタルフィルター (p.49)
- 30 画像仕上 (p.48)
- 31 カスタムイメージパラメーター
- 32 記録時間
- 33 音声
- 34 フレームレート (p.45)

ヒストグラム表示 / RGBヒストグラム表示

▲▼でヒストグラム表示とRGBヒストグラム表示が切り替えられます。



- 1 ヒストグラム (輝度)
- 2 RGBヒストグラム / 輝度ヒストグラム切り替え
- 3 プロテクト
- 4 フォルダー No.-ファイルNo.
- 5 バッファ RAW保存可能
- 6 記録形式
- 7 シャッター速度
- 8 絞り値
- 9 ISO感度
- 10 露出補正
- 11 ヒストグラム (R)
- 12 ヒストグラム (G)
- 13 ヒストグラム (B)

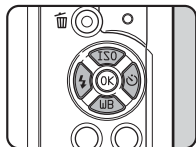
機能の設定方法

カメラの機能を使ったり設定を変更するには、次のいずれかの方法で行います。

ダイレクトキー	撮影待機状態で▲▼◀▶を押す
コントロールパネル	撮影待機状態で INFO を押す (本書では  マークで表示)
メニュー	MENU を押す

ダイレクトキーで設定する

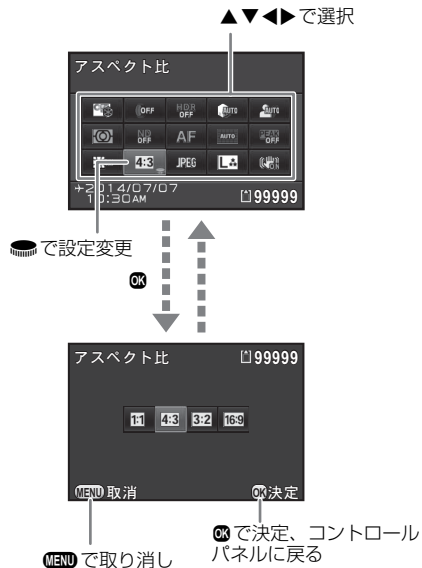
▲	ISO感度	p.35
▼	ホワイトバランス	p.45
◀	フラッシュモード	p.36
▶	ドライブモード	p.40



コントロールパネルで設定する

INFO

よく使用する撮影機能が設定できます。撮影待機状態で **INFO** を押します。



撮影メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
📷 ¹	カスタムイメージ ^{*1}	色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.48
	デジタルフィルター ^{*1}	フィルター効果をかけて撮影	フィルターオフ	p.49
	HDR撮影 ^{*1}	ハイダイナミックレンジ撮影	オフ	p.47
	記録設定	アスペクト比 ^{*1}	4:3	p.45
		記録形式 ^{*1}	JPEG	
		JPEG記録サイズ ^{*1}	L	
		JPEG画質 ^{*1}	★★★	
	AF/MF設定	フォーカスモード ^{*1}	AF	p.37
		AF方式 ^{*1}	多点オート	p.38
		AF補助投光	オン	p.37
		MF時の自動拡大	オフ	p.39
		フォーカスアシスト ^{*1}	オフ	p.39
	測光方式 ^{*1}	センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割	p.35

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
	NDフィルター *1		レンズに内蔵されたNDフィルターを使用するかどうか設定	オフ	－
	ディストーション補正 *1		レンズの特性によって生じる歪曲収差を軽減	オン	－
	D-Range 設定	ハイライト補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.47
		シャドー補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
	高感度NR		高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.35
	Shake Reduction *1		手ぶれ補正機能を設定	オン	－
	焦点距離入力		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	0.0mm	p.75
	ライブ ビュー	電子水準器	撮影待機状態で左右・前後のカメラの傾きを表示	オン	p.10
		グリッド表示	撮影待機状態でグリッドを表示	オフ	
		ヒストグラム表示	撮影待機状態でヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	撮影待機状態で白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
	クイック ビュー	表示時間	クイックビューの表示時間を設定	1秒	p.28
		拡大表示	クイックビュー中に拡大表示するかどうかを設定	オフ	
		RAW追加保存	クイックビュー中にRAW画像を追加保存するかどうかを設定	オン	
		消去	クイックビュー中に消去するかどうかを設定	オン	
		ヒストグラム表示	クイックビュー中にヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	クイックビュー中に白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
		クイックダイヤル	クイックダイヤルに機能を割り当て	スマートエフェクト	
	グリーン ボタン	グリーンボタン	●に機能を割り当て	グリーンボタン	p.64
		M/TAv時の動作	M / TAv モードで●を押したときの動作を設定	P LINE	p.65
P時の電子ダイヤル		P モードで●を操作したときに変更する値を設定	P SHIFT	p.65	
モードメモリ		電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	フォーカス位置／デジタルフィルター／HDR撮影以外オン	p.67	

*1 コントロールパネルでも設定可

動画メニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
	露出設定 ^{*1}	シャッター速度／絞り値を手動で設定するかどうかを選択	プログラム 自動露出	p.34
	デジタルフィルター ^{*1}	フィルター効果をかけて撮影	フィルターオフ	p.49
	記録設定 ^{*1}	動画の記録サイズとフレームレートを設定	 / 30fps	p.45
	録画中のAF.C	動画録画中もオートフォーカスを継続	オン	p.34
	録音レベル ^{*1}	記録時の音量を設定	音量3	—
	Movie SR ^{*1}	動画の手ぶれ補正機能を設定	オン	—

*1 コントロールパネルでも設定可

再生メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
▶1	スライド ショー	表示間隔	画像切り替えの間隔を設定	3秒	p.55
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ	
		繰り返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ	
		動画自動再生	スライドショー中に動画も再生	オン	
	クイック拡大	拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ	－	
	白とび警告	再生モードの標準情報表示／ヒストグラム表示で白とび部分を赤で点滅表示	オフ	－	
	画像の自動回転	縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン	p.55	
	全画像消去	保存されているすべての画像を消去	－	－	

詳細設定メニュー

1

基礎知識

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
1	Language/言語		表示言語の切り替え	English	p.26
	日時設定		年月日の表示形式と日時を設定	2014/01/01	p.27
	ワールドタイム		現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.67
	電子音		合焦音/ AE-L / セルフタイマー / リモコン / ワンタッチ RAW+ / シャッター音の音量とオン/オフを切り替え	音量 ³ シャッター音: 1 それ以外オン	—
	画面表示	ガイド表示	撮影モードを変更したときに、ガイド表示を表示するかどうかを設定	オン	p.11
		配色	コントロールパネルとメニューの配色を設定	1	
2	LCD設定		画像モニターの明るさと色味を調整	0	—
	フリッカー低減		電源周波数を設定し、画面のちらつきを低減	50Hz	—
	外部接続	ビデオ出力	AV機器とビデオ端子で接続するときに設定	—	p.56
		HDMI出力	AV機器とHDMI端子で接続するときに設定	オート	p.56
		USB接続	パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.77
	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名の付け方を設定	日付	p.68
	フォルダー新規作成		メモリーカードに新しいフォルダーを作成	—	p.68
	ファイルNo.	連番設定	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続するかどうかを設定	オン	p.69
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	—	
	Eye-Fi		Eye-Fiカードを使用するときの動作を設定	オフ	p.69

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
3	エコモード	5秒間操作しなかったときに、画像モニターを自動的に暗くしてバッテリーの消耗を抑制	オン	－
	オートパワーオフ	一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分	p.26
	リセット	カメラメニュー／メニュー／メニュー／メニュー／ダイレクトキー／コントロールパネル／再生モードパレットの設定内容を初期化	－	p.14
4	ピクセルマッピング	CMOSセンサーの画素の欠損部分を補完	－	p.78
	ダストリムーバル	CMOSセンサーを振動させてクリーニング	－	p.77
	フォーマット	メモリーカードをフォーマット	－	p.27
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	－	－

カスタムメニュー

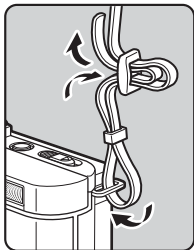
1

基礎知識

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C1	1. レンズシャッターの動作	レンズシャッターと電子シャッターの使用を設定	レンズシャッターのみ使用	p.74
	2. ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.35
	3. AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	－
	4. 測距点と露出の関連付	分割測光時に露出値とAFエリア内の測距点を関連付け	オフ	p.35
	5. ブラケット撮影順	露出ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.42
	6. フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	AWB	p.46
C2	7. 白熱灯下のAWB	ホワイトバランス AWB のときの白熱灯の色味を設定	弱	－
	8. AFの動作	AF 中にシャッターボタンを全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.38
	9. リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.42
	10. AF時のフォーカスリング	AF 時にフォーカスリングを無効化	有効	p.37
	11. フラッシュ収納時の発光	内蔵フラッシュ収納時の発光を設定	発光する	p.36
	12. 充電中のレリーズ	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ	p.36
C3	13. 色空間	使用する色空間を設定	sRGB	－
	14. 回転情報の記録	回転情報を記録するかどうかを設定	オン	p.55
	15. メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に MENU を押したときに記憶した画面を表示	記憶しない	p.14
	16. SRの自動オフ	セルフタイマー撮影／リモコン撮影時に自動的にShake Reductionをオフにする	自動オフする	p.40
	カスタムのリセット	C1～3メニューの設定内容をリセット	－	－

ストラップの取り付け

- 1 ストラップの先端をカメラの吊り環に通し、留め具の内側に固定する



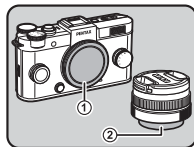
- 2 もう一方も同様に取り付ける

レンズの取り付け

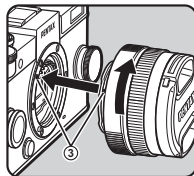
- 1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

- 2 ボディマウントカバー (①) とレンズマウントカバー (②) を外す

カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く

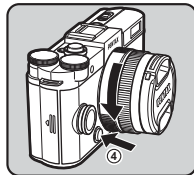


- 3 カメラとレンズのマウント指標 (赤点/③) を合わせて差し込み、レンズを右に回す「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき

レンズキャップを取り付ける
→レンズ取り外しボタン (④) を押しながらレンズを左へ回す



●メモ

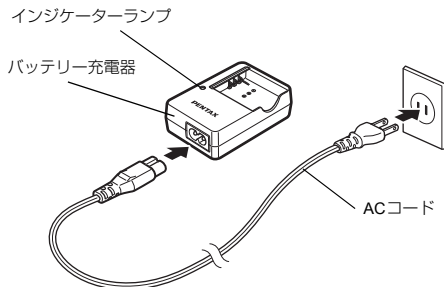
- 各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」(p.74)を参照してください。

●注意

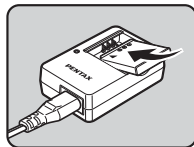
- 電源がONのときにレンズを取り外すと、シャッターボタンがロックされます。電源が入っているときは、レンズの着脱をしないでください。
- レンズの取り付け／取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントカバーを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズキャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、CMOSセンサーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気システムのトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

バッテリーのセット

本機専用のバッテリー D-LI68とバッテリー充電器D-BC68Pを使用します。

バッテリーを充電する**1** バッテリー充電器にACコードを接続**2** ACコードをコンセントに差し込む**3** ▲マークがある面を上にしてバッテリーを充電器にセット

充電中はインジケータランプ点灯
ランプが消灯したら充電完了



●注意

- ・バッテリー充電器D-BC68Pでは、D-LI68以外は充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- ・次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
 - ・バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケータランプが点滅する、または点灯しない
 - ・正しく充電しても使用できる時間が短い（バッテリーの寿命）

●メモ

- ・充電時間は、最大で約115分です（周囲の温度や充電状態によって異なります）。周囲の温度が0～40℃の環境で充電してください。

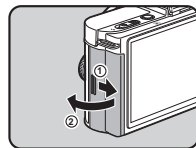
バッテリーを入れる

●注意

- ・バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、取り出せなくなる場合があります。
- ・バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- ・電源が入っているときは、バッテリーカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- ・カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、ご注意ください。
- ・長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- ・バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。

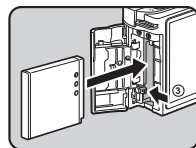
- ・長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。

1 バッテリーカバーを ① の方向にスライド

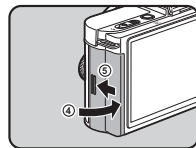


2 バッテリーの ▲ マークをカメラのレンズ側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを③の方向に押す



3 バッテリーカバーを閉じ、⑤の方向にスライド



●メモ

- ・低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されることがあります。
- ・使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- ・海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

リサイクルについて

このマークは小型充電池のリサイクルマークです。

ご使用済みの小型充電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電池リサイクル協力店へお持ちください。

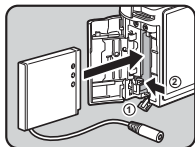


ACアダプターを使用する

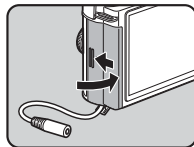
画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と接続するときは、ACアダプターキットK-AC115J（別売）のご使用をお勧めします。

- 1 カメラの電源が OFF になっていることを確認し、バッテリーカバーを開ける
バッテリーがセットされていたときは取り出す

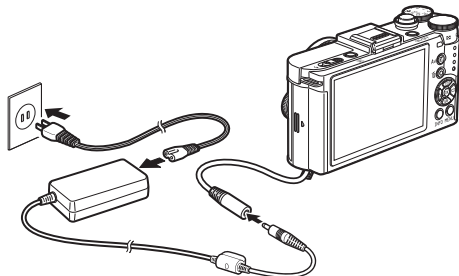
- 2 バッテリー室下側の接続ケーブルカバー (①) を引き出してからバッテリー室にDCカプラーを挿入
取り出すときは、バッテリーロックレバーを②の方向に押す



- 3 バッテリーカバーを閉める
接続ケーブルカバー部分から接続ケーブルを引き出す



- 4 DCカプラーとACアダプターを接続



- 5 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに差し込む

● 注意

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するおそれがあります。
- DC カプラーを取り出したら、接続ケーブルカバーを元に戻してください。

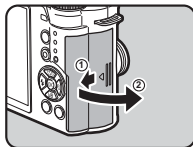
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

本機では、市販のSDメモリーカード／SDHCメモリーカード／SDXCメモリーカードが使用できます。また、無線LAN機能を内蔵したEye-Fiカードも使用できます。（本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。）

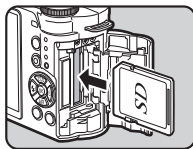
1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

2 カードカバーを①の方向にスライド

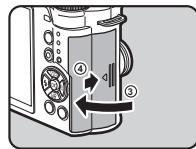


3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けて奥まで挿入

取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む



4 カードカバーを閉じ、④の方向にスライド



●注意

- カードアクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- 未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。（p.27）
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影途中で終了する場合があります。

初期設定

電源を入れて初期設定をします。

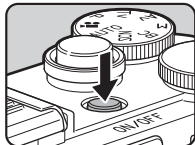
2

準備

電源を入れる

1 電源ボタンを押す

もう一度押すと電源OFF
初めて電源を入れたときは、
「Language/言語」画面が表示



●メモ

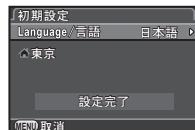
- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。(初期設定:1分) 3メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。

言語を設定する

1 ▲▼◀▶で言語を選択してOKを押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示

📍に都市名が正しく設定されているときは、手順6に進む



2 ▼で選択枠を📍に移動し、▶を押す

「📍現在地」画面が表示

3 ◀▶で都市を選択

📍で地図表示切り替え
指定できる都市は、「都市名一覧」
(p.84) 参照



4 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で□/☑を設定

5 OKを押す

「初期設定」画面に戻る

6 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

「日時設定」画面が表示



日時を設定する

- 1 ▶を押し、▲▼で日付の表示スタイルを選択



- 2 ▶を押し、▲▼で24h/12hを選択

- 3 OKを押す

選択枠が「表示スタイル」に戻る

- 4 ▼を押してから▶を押す

選択枠が西暦年に移動

- 5 ▲▼で西暦年を設定
同様に月/日と時刻を設定



- 6 ▼で「設定完了」を選択、OKを押す

撮影モードになり、撮影できる状態になる



メモ

- 設定した言語/日時は、1メニューで変更できます。(p.18)

メモリーカードをフォーマットする

4

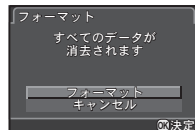
- 1 MENUを押す

1メニューが表示

- 2 4メニューを表示

- 3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す
「フォーマット」画面が表示

- 4 ▲で「フォーマット」を選択、OKを押す
フォーマット開始→メニュー選択前の画面に戻る



注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「Q-S1」というボリュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したときは、「Q-S1」という名称のリムーバブルディスクとして認識されます。

2

準備

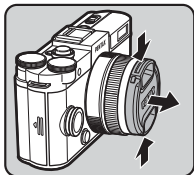
撮影のキホン

最適な撮影モードが自動で選択される **AUTO** モードで撮影してみましょう。

2

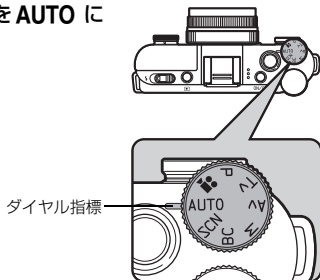
準備

- 1 図の矢印部分を押してレンズキャップを外す



- 2 電源を入れる

- 3 モードダイヤルを **AUTO** に合わせる

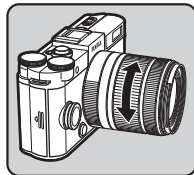


画像モニターに、撮影モードが表示（ガイド表示）



- 4 画像モニターで被写体を確認

- 5 ズームレンズを使っているときは、ズームリングを左右に回して写す範囲を決める



- 6 AF フレーム内に被写体を入れてシャッターボタン半押し

ピントが合うと、AFフレームが緑になり「ピピッ」と電子音

🔊 電子音の設定 (p.18)



AF フレーム

- 7 シャッターボタン全押し

撮影画像が画像モニターに表示（クイックビュー）

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作



消去



RAW画像を追加保存

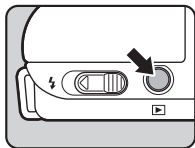
🔊 クイックビューの表示設定 (p.16)

画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

1 再生ボタンを押す

再生モードになり、最新画像が表示（1画像表示）



2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀	前の画像を表示
▶	次の画像を表示
🗑️	消去
🔍 右	拡大（最大16倍） ▲▼◀▶で拡大位置移動 ⦿で中央に戻る
🔍 左	分割表示（p.53）
📷	RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）
ℹ️	表示情報切り替え（p.11）
▼	再生モードパレット表示（p.52）

📌 メモ

- 画像モニターに📷RAWが表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。（バッファRAW保存）

撮影モードを選ぶ

被写体や状況によって撮影モードを選択します。
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	用途	参照
AUTO オートピクチャー モード	☺ (標準) / 👤 (人物) / 🌄 (風景) / 🌸 (マクロ) / 🌃 (夜景人物) / 🌅 (夕景) / 🌤 (青空) / 🌲 (フォレスト) から最適な撮影モードをカ メラが自動選択	p.28
SCN シーンモード	さまざまな撮影シーンから目的 に合った撮影モードを選択	p.30
BC ボケコントロール モード	ピント位置が異なる画像を合成 し、絞りを開いて被写界深度を 浅くしたような画像を撮影	p.31
P / Tv / Av / M 露出モード	シャッター速度と絞り値を設定 して撮影	p.32
🎥 動画モード	動画を撮影	p.34

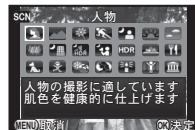
📌 メモ

- ・撮影モードによって設定できる機能に制限があります。「撮
影モードの機能制限」(p.71)を参照してください。

シーンモード

- 1 モードダイヤルをSCNに合わせる
シーンモード選択画面が表示

- 2 ▲▼◀▶でシーンを選択



👤 人物	肌色を健康的に仕上げる
🌄 風景	木々の緑を鮮やかに仕上げる
🌸 マクロ	花などに近づいて撮影
🏃 動体	動きがある被写体を撮影
🌃 夜景人物	夜景を背景に人物を撮影
🌅 夕景	朝焼けや夕焼けを撮影
🌤 青空	深い青で青空を撮影
🌲 フォレスト	木漏れ日や木々の緑を鮮やかに表 現
🌃 夜景	夜景を撮影
🌃 夜景HDR	露出が異なる3枚の画像を合成し て仕上げる
📷 ナイトスナッ プ	暗いところでのスナップ撮影
HDR HDR	3枚の画像を合成して幅広い階調 を表現
📷 テーブルフォ ト	テーブル上の小物などを撮影

	料理	彩度を高めにして料理などを撮影
	ペット	動き回るペットなどを撮影
	キッズ	動きの多い子供の肌色を健康的に撮影
	サーフ&スノー	砂浜や雪山など背景が明るい場所で撮影
	逆光シルエット	逆光で被写体がシルエットになるように仕上げる
	キャンドルライト	ろうそくの明かりを生かして撮影
	ステージライト	暗いところで動きのある被写体を撮影
	美術館	フラッシュが使用できない場所での撮影

3 OKを押す

●メモ

- シーン、コントロールパネルまたは  1メニューで変更できます。

ボケコントロールモード

1 モードダイヤルをBCに合わせる



2 で調整

ボケ具合は再生モードで確認



●注意

- AFが可能なレンズを使用したときだけ撮影ができます。(p.74)
- 撮影中はカメラを動かさないでください。
- 一部の機能は使用できません。(p.71)
- 以下の条件では、ボケの効果がうまく表現できません。
 - 全体のコントラストが低いとき
 - 噴水など、色や形が常に変化しているもの
 - 動いているもの
 - 小さなもの
 - 被写体が画面の端にあるとき
 - 逆光
 - 特殊なフィルターを使用しているとき
 - 遠い被写体

露出モード

○：設定可 △：条件付で可 ×：設定不可

モード	シャッター 速度変更	絞り値 変更	ISO感度 変更	露出補正
P プログラム 自動露出	△ *1	△ *1	○	○
Tv シャッター 優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先 自動露出	×	○	○	○
M マニュアル 露出	○	○	○ *2	×

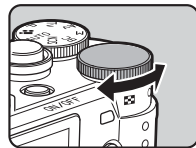
*1 3×メニュー「グリーンボタン」で変更する値を指定可能 (p.65)

*2 ISO AUTOに設定すると**TAv** (シャッター&絞り優先自動露出) モードで動作

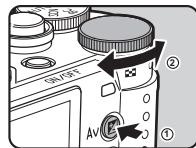
1 モードダイヤルを**P** / **Tv** / **Av** / **M**に合わせる
変更可能な値に▶表示



2  で調整



3 **M**モードは  (①) を押してから  (②) で絞り値変更



P / **Tv** / **Av** モードは、この操作で露出補正 (1/3 EV単位、-3 ~ +3 EV)



露出バー

ボタン・ダイヤル操作

-  設定の開始／終了
-  リセット

●メモ

- 露出を自動的に変化させて撮影したいときは「露出ブラケット」を利用します。(p.42)
- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度／絞り値で適正露出が得られない場合があります。
- M**モードは、シャッター速度／絞り値調整中に適正露出との差がバーグラフで表示されます。
- M**／**TAv**モードのときの**○**ボタンの機能を、**☺**3メニュー「グリーンボタン」で設定できます。(p.65)
- Tv**／**M**モードでシャッター速度を2秒より長い速度に設定したときは、ISO 1600より高いISO感度は使用できません。

バルブ撮影

1 モードダイヤルを**M**に合わせる

2 左

シャッター速度に**Bulb**が表示されるまで回す



3 シャッターボタンを押す 押し続けている間に露光（最長30秒）

4 シャッターボタンから指を放す 露光終了

●注意

- レンズシャッター内蔵レンズ使用時のみバルブ撮影ができます。(p.74)
- 一部の機能は使用できません。(p.71)

被写界深度を確認する（プレビュー）

☺3メニュー「グリーンボタン」で**○**に「プレビュー」を割り当てると、撮影前に被写界深度の確認ができます。(p.64)

動画モード

1 モードダイヤルを に合わせる

1メニュー「露出設定」を  に設定している場合は、 と  で露出設定



録画可能時間

2 シャッターボタンを半押し

フォーカスモードが **AF** のときは、オートフォーカスがピント合わせ

3 シャッターボタンを全押し

撮影開始

画面左上に ● 点滅表示

フォーカスモードが **AF** のときは、**OK** でオートフォーカス

4 シャッターボタンを全押し

撮影終了

● 注意

- 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音されます。
- デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。

● メモ

- 動画の設定は、コントロールパネルまたは 1メニューで設定します。(p.17)

- フォーカスモードが **AF** で、1メニュー「録画中のAF.C」がオンに設定されているときは、録画中もオートフォーカスが継続します。(06 TELEPHOTO ZOOMレンズを除く)
- 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が中断し、保存されます。
- 別売のリモコンで動画を撮影することもできます。ドライブモードで  を選択します。(p.42)

動画の再生

1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示



ボタン・ダイヤル操作

	再生／一時停止
	(一時停止中) コマ送り
	長押し 早送り再生
	(一時停止中) コマ戻し
	長押し 早戻し再生
	停止
	音量調節 (6段階)
	(一時停止中) 表示中のコマをJPEG形式で保存

● メモ

- 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。(p.62)

露出を設定する

ISO感度



1 撮影待機状態で▲を押す

2 ▲▼で選択

ISO AUTO	自動調整 上限値を変更可
ISO	ISO 100～12800の間 で固定値を設定



3  で値を変更

4 OKを押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- ISO感度の調整ステップはC1メニュー「2. ISO感度ステップ」で設定します。
- ISO感度を高く設定するほど、撮影画像にノイズが発生しやすくなります。M2メニュー「高感度NR」で、ノイズ軽減処理の設定ができます。

オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを行う
弱/強	ISO感度に関係なく、一定のノイズリダクションを行う

測光方式



センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。

コントロールパネルまたはM1メニュー「測光方式」で設定します。

 分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正 C1メニュー「4. 測距点と露出の関連付」で、 露出値とAFエリア内の測距点の関連付けが可能
 中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正 されない
 スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

フラッシュを使う



1 撮影待機状態で◀を押す

2 ◀▶で選択



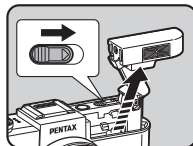
⚡ 自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
⚡ 自動発光 + 赤目軽減	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
⚡ 強制発光	常に発光
⚡ 強制発光 + 赤目軽減	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
📶 スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をする ときなどに利用
📶 スローシンクロ + 赤目軽減	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う
📶 後幕シンクロ	シャッター後幕が閉じる直前に発光 遅いシャッター速度に設定 動く被写体の光跡を、後ろに流れるように写すことが可能
🚫 発光禁止	フラッシュを発光しない

3 光量を補正するときは、▼を押してから◀▶で調整
○でリセット



4 OKを押す
撮影待機状態に戻る

5 フラッシュポップアップレバーをスライド



注意

- 内蔵フラッシュを使用しないときは、必ず収納してください。また、収納するときに指などを挟まないように注意してください。
- 内蔵フラッシュは収納したままでも発光しますが、使用するレンズによってはケラレが発生することがあります。収納時に発光させたくない場合は、**C2**メニュー「11. フラッシュ収納時の発光」で設定します。
- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、**C2**メニュー「12. 充電中のリリース」で設定します。
- 使用するレンズによっては、内蔵フラッシュの使用に制限があります。(p.74)

●メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

撮影モード	選択可能なフラッシュモード
AUTO/SCN ^{*1}	⚡ / ④
BC	⚡ / ⚡ / ⚡ / ⚡ / ④
P/Av	⚡ / ⚡ / ⚡ / ⚡ / ⚡ / SLOW / SLOW / SLOW / ④
Tv	⚡ / ⚡ / ⚡ / ⚡ / ⚡ / ⚡ / ④
M	⚡ / ⚡ / ⚡ / ④

*1 一部のSCNモードは④固定

- 内蔵フラッシュは、被写体との距離がおおよそ0.7～5mのときに有効です。それよりも近いと、ケラレなどが発生します。この距離は使用するレンズや、ISO感度の設定によって多少異なります。

ISO感度	ガイド ナンバー	ISO感度	ガイド ナンバー
ISO 100	約4.9	ISO 1600	約20
ISO 200	約7	ISO 3200	約28
ISO 400	約10	ISO 6400	約40
ISO 800	約14	ISO 12800	約56

- 外付けフラッシュについては、「外付けフラッシュ利用時の機能」(p.76)を参照してください。

ピントを合わせる

フォーカスモード



コントロールパネル、または📷1メニュー「AF/MF設定」の「フォーカスモード」で**AF**または**MF**に設定します。

●メモ

- AF**モードでは、被写体が暗い場合はシャッターボタン半押しでAF補助光が発光します。📷1メニュー「AF/MF設定」の「AF補助投光」で設定が変更できます。
- でピントを合わせることもできます。その場合、シャッターボタン半押しでのAF動作は無効になります。(p.64)
- AF**モードのときに、レンズのフォーカスリングを誤って操作してピントがずれることを防ぐため、フォーカスリング操作を無効にすることができます。**C2**メニュー「10. AF時のフォーカスリング」で設定します。

オートフォーカスの方法を設定



オートフォーカスの方法（AF方式）は以下から選択できます。

顔検出	人物の顔を検出して追尾 AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表示 シャッター半押し中は、AF動作が継続
追尾	ピントが合った被写体を追尾 シャッター半押し中は、AF動作が継続
多点オート	任意のエリアにピントを合わせる センサーを49分割（横7×縦7）し、AFエリアを任意の範囲に設定。AFエリアの大きさは、49分割中の25／9／1個のサイズから選択
セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

●メモ

- 撮影モードによっては、／ に固定されます。（p.71） モードでは、／ は選択できません。
- AFモードでは、ピントが合っているときだけ撮影ができます。ピントが合っていないくても撮影したいときは、C2メニュー「8. AFの動作」を「リリース優先」に設定します。
- フォーカスロック動作（シャッターボタン半押し状態での構図調整）は、／／／ で可能です。

任意の範囲にピントを合わせる

オートフォーカスするエリアを任意の位置・範囲に設定します。

1 AF方式を ／ に設定

2 **MENU** を押す
撮影待機状態

3 **OK** を押す

4 AFエリアを指定



ボタン・ダイヤル操作

	AFエリアを移動
	（多点オート）AFエリア拡大／縮小
	AFエリアを中央に戻す

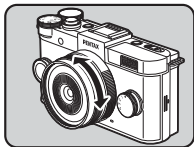
5 **OK** を押す
AFエリア確定

マニュアルでピントを調整 (マニュアルフォーカス)

1 フォーカスモードをMFに設定

2 **MENU** を押す
撮影待機状態

3 画像モニターを見ながらレンズのピントリングを回す
ピントが合っていないくても、シャッターボタン全押しで撮影可能



拡大表示してピントを合わせる



ピントリングを回したときに自動的に画像モニター中央を拡大表示します。

1 **カメラ**1メニュー「AF/MF設定」で「MF時の自動拡大」を選択

2 拡大倍率を選択、**OK**を押す

3 **MENU** を2回押す
撮影待機状態

4 ピントリングを回す 拡大表示



ボタン・ダイヤル操作



拡大 (2/4/6倍)



拡大位置を移動

○ で中央を表示



拡大表示/等倍表示切り替え

メモ

- コントロールパネル、または**カメラ**1メニュー「AF/MF設定」で「フォーカスアシスト」をオンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。**AF** / **MF** の両方で有効です。

ドライブモードを設定する



以下のドライブモードが選択できます。

1コマ撮影	通常の撮影
連続撮影 (Hi)	シャッターボタンを押している間に撮影 最大約5コマまで連続撮影可能 記録形式RAW/RAW+では選択不可
連続撮影 (Lo)	最大約100コマまで連続撮影可能
セルフタイマー (12秒)	シャッターボタンを押してから約12秒後に撮影
セルフタイマー (2秒)	シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影
リモコン	リモコンのシャッターボタンを押すとすぐに撮影
リモコン (3秒後リリース)	リモコンのシャッターボタンを押してから約3秒後に撮影
リモコン連続撮影	リモコンのシャッターボタンを押すと連続撮影開始。もう一度シャッターボタンを押すと連続撮影終了
露出ブラケット	露出が異なる3枚の画像を連続して撮影 1回のリリースで、標準→アンダー→オーバーの順に3枚の画像が保存
リモコン露出ブラケット	リモコンで露出ブラケット撮影
多重露出	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影
セルフタイマー多重露出	セルフタイマーで多重露出

リモコン多重露出	リモコンで多重露出
インターバル撮影	指定時刻から一定間隔で連続撮影
インターバル動画	一定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイルで保存 モード時のみ選択可

● 注意

- 一部の撮影モードは、設定できるドライブモードが制限されます。(p.71)

● メモ

- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。 3メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに1コマ撮影に戻ります。(p.67)
- セルフタイマー／リモコンを選択したときは、Shake Reductionが自動的にオフになります。オフにしたい場合は、 3メニュー「16. SRの自動オフ」で設定します。

連続撮影

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 ◀▶で📷を選択、▼を押す



- 3 ◀▶で📷/📷を選択、OKを押す
撮影待機状態に戻る

注意

- 設定しているアスペクト比によって、撮影できる枚数が異なります。
- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、C2メニュー「12. 充電中のリリース」で設定します。

メモ

- AFは1枚目の合焦位置に固定されます。

セルフタイマー撮影

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 ◀▶で🕒を選択、▼を押す



- 3 ◀▶で🕒/🕒を選択、OKを押す
撮影待機状態に戻る

- 4 シャッターボタン半押し→全押し
セルフタイマーランプ点滅
12秒後または2秒後に撮影

リモコン撮影

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 ◀▶で $\mathcal{R}$ を選択、▼を押す



- 3 ◀▶で $\mathcal{R}$ / $\mathcal{R}_{AS}$ / $\mathcal{R}_{L}$ を選択、OKを押す
撮影待機状態に戻る
セルフタイマーランプ点滅

- 4 シャッターボタン半押し

- 5 カメラ正面／背面のリモコン受光部にリモコンを向け、リモコンのシャッターボタンを押す

●メモ

- リモコン撮影できる距離は、カメラ正面から約 4m、背面から約 5cm です。
- リモコンでピント合わせをしたいときは、C2 メニュー「9. リモコン時のAF」で設定します。
- 防水リモコンO-RC1を使用時は、 $\mathcal{R}_{L}$ ボタンでピント合わせができます。Fn ボタンには対応していません。

露出ブラケット

- 1 撮影待機状態で▶を押す
ドライブモード画面が表示

- 2 ◀▶で $\mathcal{B}$ を選択、▼を押す

- 3 ◀▶で $\mathcal{B}$ / $\mathcal{B}_{1}$ を選択、▼を押す

- 4 ブラケット幅を設定する
1/3 EV単位で設定



ボタン・ダイヤル操作



ブラケット幅変更



露出補正



リセット

- 5 OKを押す

撮影待機状態に戻る

●メモ

- 3枚の撮影順を変更するときは、C1メニュー「5. ブラケット撮影順」で設定します。

多重露出

- 1 撮影待機状態で **▶** を押す
ドライブモード画面が表示
- 2 **◀▶** で を選択、**▼** を押す
- 3 **◀▶** で / / を選択、**▼** を押す
- 4 **◀▶** で撮影回数を選択

2～9回で指定

撮影回数に応じて露出を調整する場合は、「自動露出調整」を ☒ に設定



- 5 **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

- 6 撮影する
クイックビュー表示

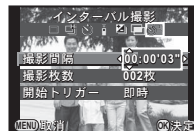
クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

	画像を破棄し、1回目から撮影し直し
MENU	撮影済み画像を保存し、撮影待機状態に戻る

設定した回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

インターバル撮影

- 1 撮影待機状態で **▶** を押す
ドライブモード画面が表示
- 2 **◀▶** で を選択、**▼** を押す
- 3 **▲▼◀▶** で撮影条件を設定



撮影間隔	2枚以上撮影する場合の待機時間を、3秒間～24時間で設定
撮影枚数	撮影する枚数を2～999枚で設定
開始トリガー	1枚目を撮影するタイミングを即時／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」の場合の撮影開始時刻を設定

- 4 設定が終わったら **OK** を押す
撮影待機状態に戻る

- 5 撮影する
「開始トリガー」が「即時」の場合は1枚目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始
撮影を途中で終了する場合は、**MENU** を押す
設定枚数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

メモ

- AFは1枚目の合焦位置に固定されます。

3

撮影

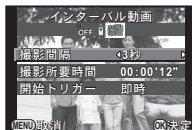
インターバル動画

📷モードのときは、一定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイル（Motion JPEG、拡張子：.AVI）で保存する「インターバル動画」が撮影できます。

1 モードダイヤルを📷に合わせて▶を押す
ドライブモード画面が表示

2 ◀▶で📷を選択、▼を押す

3 ▲▼◀▶で撮影条件を設定



撮影間隔	3秒／5秒／10秒／30秒／1分／5分／10分／30分／1時間から選択
撮影所要時間	撮影開始から終了までの所要時間を12秒～99時間で設定。「撮影間隔」によって、設定できる時間が異なる
開始トリガー	1枚目を撮影するタイミングを即時／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」の場合の撮影開始時刻を設定

4 設定が終わったらOKを押す
撮影待機状態に戻る

5 撮影する

「開始トリガー」が「即時」の場合は1枚目撮影クイックビュー表示後、画像モニター消灯
設定枚数の撮影が終了すると、通常の動画撮影待機状態に戻る

記録形式を設定する

静止画



静止画の記録形式は、コントロールパネルまたは **1** メニュー「記録設定」で設定します。

アスペクト比	16:9 / 3:2 / 4:3 / 1:1
記録形式	JPEG / RAW / RAW+
JPEG記録サイズ	L / M / S
JPEG画質	★★★ / ★★ / ★

●注意

- 「記録形式」をRAW / RAW+に設定すると、一部の機能が制限されます。また撮影モードによっては、RAW / RAW+が選択できません。(p.71)

●メモ

- 「記録形式」をRAW+に設定すると、ファイルNo.が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- に機能を割り当てて、ボタンを押したときだけ記録形式を変更して撮影することもできます。(p.64)

動画



動画の記録形式は、コントロールパネルまたは **1** メニュー「記録設定」で設定します。

記録サイズ	FULLHD / HD / VGA
フレームレート	30 fps / 25 fps / 24fps

色味と明るさを設定する

ホワイトバランス



- 撮影待機状態で▼を押す
ホワイトバランス設定画面が表示

- ◀▶で選択
▲は▼を押してから◀▶で端
／▲／▲／▲を選択



ホワイトバランス		色温度
AWB	オート	約4000～8000K
☀	太陽光	約5200K
☁	日陰	約8000K
☁	曇天	約6000K
▲	▲ 昼光色蛍光灯	約6500K
	▲ 昼白色蛍光灯	約5000K
	▲ 白色蛍光灯	約4200K
	▲ 電球色蛍光灯	約3000K
💡	白熱灯	約2850K
⚡	フラッシュ	約5400K
CTE	Color Temperature Enhancement	—
📖	マニュアル1～3	—

微調整が不要なときは、手順5へ

3 を押す

微調整画面が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	G-M（グリーンーマゼンタ）間
◀▶	B-A（ブルーアンバー）間
○	リセット

4 を押す

手順2画面に戻る

5 を押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- フラッシュ発光時のホワイトバランスは、**C1** メニュー「6. フラッシュ発光時のWB」で設定できます。

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

1 p.45の手順2で を選択、▼を押す

2 ◀▶ で 1～ 3を選択する



3 測定する照明の下で白い被写体を選択し、シャッターボタンを全押し

必要に応じて微調整する
測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」と表示。 で再測定

4 を押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- 再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスを  1～ 3に登録できます。(p.52)

明るさを補正して撮影

ハイライト補正／シャドウ補正



ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白とび／黒つぶれを防ぎます。
コントロールパネル、または📷2メニュー「D-Range設定」で設定します。



●注意

- ISO感度をISO 100に設定すると、ハイライト補正をオンに設定することはできません。

HDR撮影



露出が異なる3枚の画像を撮影して合成します。
コントロールパネルまたは📷1メニュー「HDR撮影」で設定します。



●注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.71)
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

●メモ

- SCNモードの📷1／HDRに設定されているときは専用のHDR設定になるため、「HDR撮影」は設定できません。

仕上がりイメージを決めて撮影する

少し変わった雰囲気の写真を撮影したいときなどは、でき上がりのイメージを先に決めてから撮影します。以下の機能があります。いろいろな設定で撮影してみて、お気に入りの撮影方法を見つけてください。

カスタムイメージ	「鮮やか」や「人物」などの画像仕上を設定
デジタルフィルター	いろいろなフィルターを使って撮影
スマートエフェクト	さまざまな効果を設定して撮影

カスタムイメージ



- 1** コントロールパネル「カスタムイメージ」を選択、**OK**を押す
カスタムイメージ設定画面が表示

- 2** ▲▼◀▶で画像仕上を選択



鮮やか
ナチュラル
人物
風景
雅 (MIYABI)
ポップチューン

ほのか
銀残し
リバーサルフィルム
モノトーン
クロスポロセス

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

- 3** **OK**を押す
パラメーター設定画面表示

- 4** ▲▼でパラメーターを選択



ボタン・ダイヤル操作

- ◀▶ 値調整
- ⬮ シャープネス/ファインシャープネス切り替え (📷モード時は無効)
- リセット

- 5** **OK**を押す
手順2の画面に戻る

- 6** **OK**を押す

- 7** **MENU**を押す
撮影待機状態に戻る

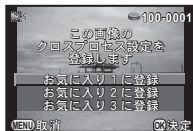
撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

カスタムイメージ/スマートエフェクトの「クロスプロセス」を設定して撮影した画像は、撮影するたびに処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用することができます。

- 1** 再生モードの1画像表示で▼を押す
再生モードパレットが表示

- 2** ▲▼◀▶でを選択、OKを押す
最新画像から順にクロスプロセス画像を検索
見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありません」と表示

- 3** でクロスプロセス画像を選択



- 4** ▲▼で登録する番号を選択、OKを押す
指定した画像の設定がお気に入り1～3に登録

メモ

- 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」で「クロスプロセス」を選択し、パラメーターでお気に入り1～3を選択して呼び出します。

デジタルフィルター



- 1** コントロールパネル「デジタルフィルター」を選択、OKを押す
デジタルフィルター設定画面が表示

- 2** ▲▼◀▶でフィルターを選択
デジタルフィルター撮影を終了するときは「フィルターオフ」を選択



トイカメラ
ハイコントラスト
シェーディング
ドラマチックアート
ネガポジ反転
色抽出

ソリッドモノカラー
水彩画
ポストリゼーション
スリム
フィッシュアイ

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

- 3** を押す
パラメーター設定画面が表示

- 4** ▲▼でパラメーターを選択、
◀▶で調整



5 **OK**を押す
手順2の画面に戻る

6 **OK**を押す

7 **MENU**を押す
撮影待機状態に戻る

●注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。(p.72)
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

●メモ

- 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。(p.59)

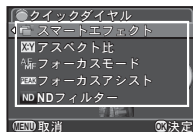
よく使う機能をクイックダイヤルに登録

カメラ前面のクイックダイヤルには、以下のいずれかの機能が1つ登録できます。よく使用する機能を登録しておくと、簡単に設定が変更できます。

スマートエフェクト	フォーカスアシスト
アスペクト比	NDフィルター
フォーカスモード	

1 **カメラメニュー「クイックダイヤル」**を選択、**▶**を押す
「クイックダイヤル」画面が表示

2 **▶**を押し、**▲▼**で登録する機能を選択



3 **OK**を押してから**▼**を押す

4 **▲▼** でダイヤルのポジション1~4を選択



5 **◀▶**で登録する設定値を選択
スマートエフェクトは以下から選択



極彩	ドラマチックアート
ソリッドモノカラー	ハードモノクローム
Auto110モード	あでみやび
アンティーク	フェードカラー
さくらほのか	USER 1~3

6 **OK**を押す

手順4画面に戻る

手順4~6を繰り返し、他のポジションも同様に設定を登録

7 **MENU** を2回押す

撮影待機状態に戻る

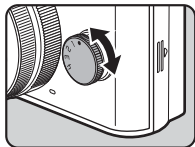
●メモ

- 「スマートエフェクト」の「USER1～3」には、お気に入り画像の撮影設定が登録できます。クイックダイヤルの操作で、お気に入りの設定ですぐに撮影ができます。(p.66)

設定を呼び出して撮影する

クイックダイヤルに登録した機能の設定で撮影します。この間は、メニュー等の設定にかかわらず、クイックダイヤルに登録した設定が優先されます。

1 撮影待機状態でクイックダイヤルのポジション1～4を選択



2 撮影する

3 撮影終了後は、クイックダイヤルをポジション0に戻す

元の設定に戻る

●注意

- クイックダイヤルを使って撮影しているときは、その設定をメニュー等で変更することはできません。クイックダイヤルの設定を変更するときは、登録し直してください。

スマートエフェクトを使って撮影する

1 「クイックダイヤル」に「スマートエフェクト」を登録

2 撮影待機状態でクイックダイヤルのポジション1～4を選択

3 設定を変更するときは▼を押す

パラメーター変更画面が表示

4 ◀▶でパラメーターを変更



5 **OK**を押す

撮影待機状態に戻る

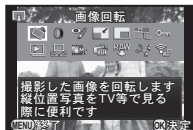
●注意

- 一部の機能は使用できません。(p.73)

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、**▶1**メニュー (p.17) のほかに、再生モードパレットで指定します。

再生モードパレットは、再生モードの1画像表示のときに▼を押すと表示されます。



項目	機能	参照
画像回転 *1	画像の回転情報を変更	p.55
デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工	p.59
赤目補正 *1 *2	赤目になった人物の画像を補正	p.59
リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更	p.58
トリミング *1 *2	画像の必要な部分だけを切り取り	p.58
インデックス	複数画像を1枚に貼り付けて保存	p.61
プロテクト	画像を誤って消去しないように保護	p.68
スライドショー	画像を連続再生	p.55
マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録	p.46
クロスプロセス登録	カスタムイメージ/スマートエフェクトのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録	p.49

項目	機能	参照
スマートエフェクト登録 *1	お気に入り写真の撮影設定をクイックダイヤルに登録	p.66
RAW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換	p.63
動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去	p.62
Eye-Fi画像転送	Eye-Fiカード使用時に、画像を選択して転送	p.70

*1 動画表示時は実行不可

*2 RAW画像表示時は実行不可

*3 RAW画像保存時のみ実行可

*4 動画表示時のみ実行可

再生方法を変更する

複数画像を表示する

撮影した画像を複数枚（4／9／30／56画像）ずつ表示します。

- 1 再生モードで  左
複数画像表示



ボタン・ダイヤル操作

 選択枠を移動

 複数画像表示
選択画面



 選択消去

- 2  を押す
選択画像が1画像表示

選択して消去する

- 1 「複数画像を表示する」の手順1の画面で  を押す
- 2 消去画像を選択



ボタン・ダイヤル操作

 選択枠を移動

 消去画像を選択／解除

 選択画像を1画像表示
 で画像切り替え

- 3  を押す
消去の確認画面が表示

- 4 「選択消去」を選択、 を押す

メモ

- 一度に選択できるのは、100画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。

フォルダーごとに表示する

- 1 「複数画像を表示する」の手順1の画面で  左
フォルダー表示



ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼◀▶ 選択枠を移動
 フォルダー消去

- 2 **OK** を押す
 フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

- 1 「フォルダーごとに表示する」の手順1の画面で消去フォルダーを選択、 を押す
 消去の確認画面が表示
- 2 「消去」を選択、**OK** を押す
 フォルダーとフォルダー内画像が消去
 フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、すべて消去／すべて残すを選択

撮影日ごとに表示する

撮影した日付ごとに画像を表示します。

- 1 「複数画像を表示する」の手順1で **INFO** を押す
 複数画像表示選択画面が表示
- 2 「撮影日別表示」を選択

選択した日付の画像枚数



撮影日

サムネイル

ボタン・ダイヤル操作

- ▲▼ 撮影日選択
 ◀▶ 撮影日内の画像を選択
 右 選択画像を1画像表示
 選択画像を消去

- 3 **OK** を押す
 選択画像が1画像表示

●注意

- メモリーカードに 100000 枚以上のファイルがある場合は、撮影日別表示はできません。

連続して再生する（スライドショー）

1 再生モードパレットで を選択

スライドショー開始

ボタン・ダイヤル操作

	一時停止／再開
	前の画像を表示
	次の画像を表示
	停止

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

●メモ

- スライドショーの表示間隔／画面効果／繰り返し再生／動画自動再生について変更するときは、1メニュー「スライドショー」で設定します。この画面からスライドショーを開始することもできます。

画像を回転して表示する

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。1メニュー「画像の自動回転」がオンに設定されているときは、再生時に回転情報に従って表示されます。

回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで を選択

画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 ▲▼◀▶ で回転方向を選択、

を押す

回転情報が更新



●注意

- 3メニュー「14. 回転情報の記録」をオフに設定した状態で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- 次のときは、回転情報を変更できません。
 - プロテクトされた画像
 - 回転情報タグがない画像
 - 1メニュー「画像の自動回転」がオフに設定されているとき
- 動画は回転できません。

AV機器と接続する

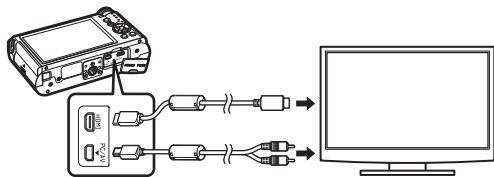
ビデオ端子／HDMI端子を備えたテレビなどと接続し、画像を再生できます。

接続する機器の端子によって、以下のケーブルを用意してください。

AV機器の端子	使用するケーブル
ビデオ端子	AVケーブルI-AVC7（別売）
HDMI端子	HDMI端子（タイプD）を備えたHDMIケーブル（市販品）

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、PC/AV 端子または HDMI端子にケーブルを接続する



3 ケーブルのもう一方の端子をAV 機器の映像入力端子に接続する

4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがビデオモード／HDMIモードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

●注意

- ビデオ出力の場合、AV 機器の対応解像度にかかわらず、通常の解像度になります。ハイビジョンで出力する場合は、HDMI出力を利用するか、パソコンへ転送して再生してください。
- AV 機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。
- ビデオ出力とHDMI出力を同時に行うことはできません。

●メモ

- ご使用のAV 機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 長時間使用するときは、AC アダプターキット（別売）のご使用をお勧めします。
- 初期設定（p.26）で現在地を設定すると、その地域に合ったビデオ出力方式が設定されます。また、**1**メニュー「ワールドタイム」で目的地を設定すると、その都市の出力方式に切り替わります。国や地域によっては、設定されたビデオ出力方式では、うまく映らない場合があります。その場合は、**2**メニュー「外部接続」の「ビデオ出力」で設定を変更してください。現在地／目的地で設定できる都市のビデオ出力方式は、「都市名一覧」（p.84）を参照してください。
- HDMI出力方式は、AV機器とカメラが対応する最大サイズが自動で選択されます。うまく映らない場合は、**2**メニュー「外部接続」の「HDMI出力」で設定を変更してください。

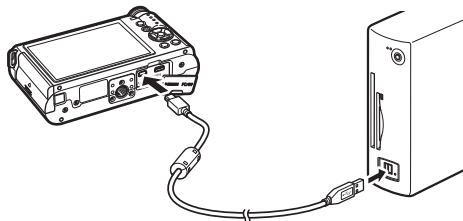
パソコンと接続する

付属のUSBケーブルI-USB7を使用してパソコンと接続します。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 カメラの端子カバーを開き、PC/AV端子にUSBケーブルを接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる

カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識
カメラの電源を入れたときに「Q-S1」ダイアログが表示された場合は、ダイアログ内の「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してOKボタンをクリック

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

●注意

- パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてください。

●メモ

- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」(p.85)を参照してください。
- カメラをパソコンに接続するときの転送モードは、2メニュー「外部接続」の「USB接続」で設定します。初期設定は「MSC」になっており、変更する必要はありません。

画像を加工・編集する

画像のサイズを変更する

④注意

- リサイズ／トリミングが実行できるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。
- 本機で最小サイズにリサイズ／トリミングされた画像は実行できません。

記録サイズを変更する（リサイズ）

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットでを選択 記録サイズ選択画面が表示

3 ◀▶ で記録サイズを選択、OKを押す 元の画像より1つ小さいサイズから選択可



4 「新規保存」を選択、OKを押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットでを選択 トリミング範囲指定画面が表示

3 トリミングする大きさ／範囲を指定



ボタン・ダイヤル操作



トリミングサイズ変更



トリミング範囲移動



アスペクト比変更



トリミング範囲回転（可能時のみ）

4 OKを押す

5 「新規保存」を選択、OKを押す

赤目を補正する

フラッシュ撮影で人物の目が赤く写ってしまった画像を補正します。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットでを選択

赤目が特定できなかった場合は、「正しく処理できませんでした」と表示

3 「新規保存」を選択、を押す

●注意

- 赤目補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

デジタルフィルターで加工する

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットでを選択 フィルター選択画面が表示

3 ▲▼◀▶でフィルターを選択

で画像切り替え可



ベースメイク

トイカメラ

ハイコントラスト

シェーディング

ドラマチックアート

ネガポジ反転

色抽出

ソリッドモノカラー

水彩画

ポストリゼーション

スリム

フィッシュアイ

レトロ

デッサン

ミニチュア

ソフト

クロス

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

4 を押す

パラメーター設定画面が表示

5 ▲▼でパラメーターを選択、◀▶で調整

選択したフィルターによって設定できるパラメーターが異なります。



6 OKを押す

保存の確認画面が表示

7 フィルターを重ねる／新規保存を選択、OKを押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィルターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

●注意

- デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影したJPEG／RAW画像のみです。

●メモ

- フィルターは撮影時デジタルフィルター (p.49) も含めて、通算20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

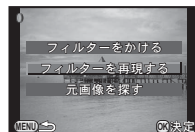
フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィルターを適用します。

1 1画像表示でデジタルフィルター画像を表示

2 再生モードパレットで①を選択

3 「フィルターを再現する」を選択、OKを押す

選択画像に設定済みのフィルターの履歴が表示



4 パラメーターを確認する場合はINFOを押す

再度INFOを押すと元の画面に戻る



5 OKを押す

画像選択画面が表示

6 ②でフィルター処理する画像を選択、OKを押す

フィルター処理されていない画像のみ選択可



7 「新規保存」を選択、OKを押す

●メモ

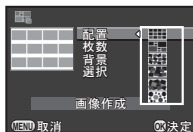
- 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルターを設定する前の画像を呼び出すことができます。

複数画像を貼り付ける（インデックス）

複数の画像を1枚に貼り付けた画像を作成します。

- 1 再生モードパレットで を選択
インデックス設定画面が表示

- 2 「配置」を選択
（サムネイル）／（スクエア）／（ランダム1）／（ランダム2）／（ランダム3）／（バブル）から選択



- 3 「枚数」を12／24／36から選択
保存画像の数が選択枚数より少ない場合、「配置」が のときは空欄、それ以外は画像が重複して表示

- 4 「背景」を白／黒／木目／コルク／水面から選択

- 5 「選択」で画像の選択方法を選択

	オート	全画像から自動的に選択
	画像選択	1画像ずつ選択 続けて「画像選択」を指定
	フォルダー 選択	指定したフォルダーから自動選択 続けて「フォルダー選択」を指定

- 6 「画像作成」を選択、を押す
インデックス画像が表示

- 7 保存／再シャッフルを選択、を押す
「再シャッフル」は、画像を選び直して新たなインデックス画像を作成

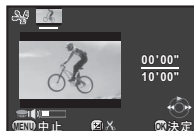
●メモ

- インデックス画像は、「INDXxxxx.JPG」というファイル名で保存されます。

動画の編集

- 1 画像表示で対象動画を表示
- 2 再生モードパレットで を選択
動画編集画面が表示

- 3 分割箇所を指定
画面上部に分割位置の先頭コマが表示
4箇所（5分割）まで指定可



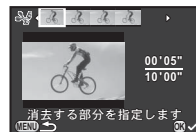
ボタン・ダイヤル操作

	再生／一時停止
	（一時停止中）コマ送り
	早送り再生
	（一時停止中）コマ戻し
	早戻し再生
	分割位置指定／解除
	音量調節

消去しない場合は、手順7へ

- 4 を押す
消去指定画面が表示

- 5 で選択枠を移動、**OK** を押す
消去範囲を選択（複数選択可）
再度 **OK** を押すと、選択解除



- 6 **MENU** を押す
手順3画面に戻る
- 7 **OK** を押す
保存確認画面が表示

- 8 「新規保存」を選択、**OK** を押す

メモ

- 分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向（後ろから前）に順に指定します。途中に分割位置を追加／解除はできません。

カメラの設定

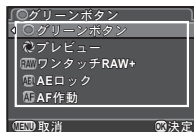
○/の機能を設定する



カメラメニュー「グリーンボタン」で○との機能を変更できます。

○の動作を設定する

○に以下のいずれかの機能が割り当てられます。



設定	機能
グリーンボタン	調整中の値をリセット
プレビュー	押している間、設定した絞り値まで絞って被写界深度を確認
ワンタッチRAW+	「記録形式」の設定にかかわらず、一時的に記録形式を変更 撮影ごとに解除するかと、○を押したときの記録形式を選択
AEロック	露出を記憶
AF作動	シャッターボタン半押しを無効にし、○を押したときだけオートフォーカスを行う

ワンタッチRAW+を設定する

1 カメラメニュー「グリーンボタン」で「ワンタッチRAW+」を選択

2 「撮影毎に解除」の☒/□を切り替え

☒	1回撮影するたびに「記録形式」の設定に戻る
☐	以下の操作を行うまで設定を継続 - 再度○を押す - カメラ/メニュー/INFO/電源ボタンのいずれかを押す - モードダイヤルを回す

3 各記録形式に対する○を押したときの記録形式を選択
 左が「記録形式」の設定、右が○を押したときの記録形式

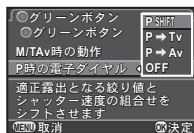


Pモードの $\odot$ の動作を設定する

Pモードのときに $\odot$ で変更する値を設定します。

1 $\odot$ 3メニュー「グリーンボタン」で「グリーンボタン」を選択

2 「P時の電子ダイヤル」で設定を選択



P SHIFT	シャッター速度／絞り値の組み合わせが適正露出になるようシフト（プログラムシフト）
P → Tv	シャッター速度を設定（シャッター優先自動露出）
P → Av	絞り値を設定（絞り優先自動露出）
OFF	Pモード時の $\odot$ 操作無効

$\odot$ メモ

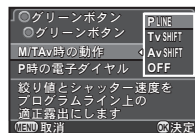
- $\odot$ を操作後に $\odot$ を押すと、通常のPモードの設定に戻ります。

M／TAvモードの $\odot$ の動作を設定する

M／TAvモードのときの $\odot$ の動作を設定します。

1 $\odot$ 3メニュー「グリーンボタン」で「グリーンボタン」を選択

2 「M/TAv 時の動作」で設定を選択



P LINE	絞り値／シャッター速度をプログラムライン上の適正露出に調整
Tv SHIFT	絞り値固定のままシャッター速度をシフト
Av SHIFT	シャッター速度固定のまま絞り値をシフト
OFF	M／TAvモード時の $\odot$ 操作無効

お気に入り画像の設定を登録する

お気に入りの画像が撮影できたら、その画像の撮影設定がいつでも利用できるように登録しておくことができます。

1 再生モードの1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで  を選択
設定変更画面が表示

3 必要に応じてホワイトバランス／カスタムイメージ／デジタルフィルターを登録
設定を登録しない場合は「—」を選択



ボタン・ダイヤル操作

▲▼ 機能選択

◀▶ 値変更

 画像切り替え

○ リセット

4 **OK**を押す
登録確認画面が表示

5 登録する番号を選択、**OK**を押す
選択画像の撮影設定と画像が
USER1～3に登録



登録した設定を利用する

登録した設定を撮影時に呼び出します。

1  3メニュー「クイックダイヤル」を選択

2 「クイックダイヤル」画面で「スマートエフェクト」を選択

3 ダイヤルのポジション1～4
に **USER1** / **USER2** /
USER3を登録



4 撮影待機状態でクイックダイヤルのポジション1～4を選択
登録した撮影設定が呼び出される

メモ

・「クイックダイヤル」の詳細は、p.50を参照してください。

目的地の日時を表示する



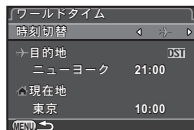
初期設定 (p.26) で設定した日時は現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。

現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録できます。

1 1メニュー「ワールドタイム」を選択

2 「時刻切替」で表示する時刻を選択

⬇ (現在地) / ⬆ (目的地)



3 ▼で「目的」を選択、▶を押す 「目的」画面が表示

4 ◀▶で都市を選択 ⌂で地図表示切り替え



5 ▼で「夏時間」を選択、◀▶で□/☑を設定

6 OKを押す

「ワールドタイム」画面に戻る

メモ

- 現在地／目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」(p.84)を参照してください。
- 手順3で「⬇ 現在地」を選択すると、現在地の都市／夏時間を変更できます。
- 「時刻切替」を⬆に設定すると、コントロールパネルとガイド表示に⬆と目的地の日時が表示されます。またビデオ出力方式は、その都市の初期設定に切り替わります。

カメラに保存する設定を選択する



本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する(☑)か初期設定に戻す(□)かを選択できます。

3メニュー「モードメモリ」で設定します。

機能	初期設定
フラッシュモード	☒
ドライブモード	☒
ホワイトバランス	☒
カスタムイメージ	☒
ISO感度	☒
露出補正	☒

機能	初期設定
フラッシュ光量補正	☒
フォーカス位置	☐
デジタルフィルター	☐
HDR撮影	☐
再生情報表示	☒

メモ

- 3メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

●注意

- プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。

1 再生モードパレットで **o** を選択
処理単位選択画面が表示

2 処理単位を選択、**OK**を押す
「全画像」選択時は、手順4へ

3  で画像を選択



4 「プロテクト」を選択、**OK**を押す
他の画像もプロテクトするときは、手順3～4を繰り返す

5 終了するときは **MENU** を押す

フォルダー／ファイルNo.の設定

2

フォルダー

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。フォルダー名の文字列は、2メニュー「フォルダー名」で選択できます。

日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が2桁で付く 月日は「日時設定」の表示スタイルに準じる 例) 101_0125・・・1月25日に撮影
PENTX	フォルダー番号の後ろに「PENTX」の文字列が付く 例) 101PENTX

フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。

●メモ

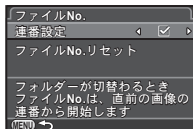
- 1つのフォルダーには、最大500枚（Eye-Fiカードは最大100枚）の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただし、露出ブラケット撮影では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。
- 2メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の番号のフォルダーを新しく作成することができます。この操作で作成できるフォルダーは1つのみで、複数のフォルダーを続けて作成することはできません。
- 「RAW展開」の複数画像選択展開／フォルダー選択展開を実行したときは、新たな番号の「xxxR_JPG」フォルダーが作成され、JPEG画像が保存されます。（p.63）

●注意

- フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダー使用時に、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル名の番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後に0001～9999の連番が付きます。フォルダーが新しくなったときにファイル番号を継続するかどうかを、2メニュー「ファイルNo.」の「連番設定」で設定できます。



☒	フォルダーが新しくなっても画像のファイル番号を継続
☐	フォルダーが新しくなるたびに、画像のファイル番号を0001から開始

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセットされます。

●メモ

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。
- ファイル名の先頭には、C3メニュー「13. 色空間」の設定によって以下の文字列が付きます。

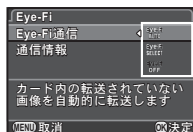
色空間	ファイル名
sRGB	IMGPxxxx.JPG
AdobeRGB	_IMGxxxx.JPG

画像を無線LANで転送する

2

無線LAN機能を内蔵したメモリーカード「Eye-Fiカード」を使用している場合は、無線LAN経由でパソコンなどに画像が転送できます。

Eye-Fiカード使用時の動作を、2メニュー「Eye-Fi」の「Eye-Fi通信」で設定できます。



オート	画像が撮影または新規保存するたびに自動的に転送 動画は2GB以下の場合のみ転送
セレクト	転送する画像を必要に応じて再生モードで指定 転送できるのはJPEG/RAWのみ
オフ	無線LAN機能を停止

●注意

- Eye-Fiカードを接続する無線LANアクセスポイントは、パソコンで設定してください
- Eye-Fiカードの仕様と設定によって、RAWと動画が転送できるかどうか異なります。
- バッテリー残量が少ないと、転送できない場合があります。
- 大量の画像を転送する場合は、時間がかかることがあります。また、カメラ内が高温になると、電源が切れることがあります。
- Eye-Fiカードに関する注意事項は、「Eye-Fiカードについて」(p.93)を参照してください。

●メモ

- Eye-Fiカードをセットしていないときは、**2**メニュー「Eye-Fi」は選択できません。
- Eye-Fiカード使用時は、1フォルダーに100枚ずつ保存されます。RAW+の画像は2ファイルで1枚とみなされます。
- 「通信情報」を選択すると、Eye-Fi カードのバージョンが確認できます。

転送する画像を指定する

画像を選択して転送します。

1 **2**メニュー「Eye-Fi」の「Eye-Fi通信」をセレクトに設定

2 再生モードパレットでを選択 処理単位選択画面が表示

3 処理単位を選択、**OK**を押す

画像選択	同一フォルダー内、最大100枚まで選択
フォルダー選択	1フォルダー内の転送可能な全画像を転送

フォルダー選択画面が表示

4 フォルダーを選択、**OK**を押す

画像選択画面が表示

「フォルダー選択」の場合は、手順7へ

5 画像を選択

転送済み画像や動画は選択不可



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶ 選択枠を移動

 1画像表示

OK 転送オン／オフ

6 **INFO** を押す

確認画面が表示

7 「転送」を選択、**OK**を押す

メッセージ表示後、1画像表示に戻る

撮影モードの機能制限

×：組み合わせ不可 △：制限付きで組み合わせ可

撮影モード 機能		AUTO	SCN											BC	Bulb	
ISO感度		AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	×	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定	AUTO 固定		～ISO 1600	
フラッシュ		のみ	のみ	×	のみ	のみ	×	のみ	のみ	×	のみ	×	×			×
ドライ ブモ ード	1コマ撮影					×				×	×					×
	連続撮影					固定 ^{*1}	×		×	固定 ^{*1}	固定 ^{*1}			×	×	×
	セルフタイマー					×				×	×					×
	リモコン	即／3秒				×				×	×					のみ
		連続撮影				×	×		×	×	×			×	×	×
	露出ブラケット					×	×		×	×	×			×	×	×
	多重露出					×	×		×	×	×			×		×
インターバル撮影						×	△ ^{*2}		×	×	×			×	×	
フォーカスモード		固定	固定			固定		固定		固定	固定	固定				以外
記録形式		RAW／RAW+					×		×					×		×

撮影モード 機能	AUTO	SCN											BC	Bulb	
ShakeReduction						×								×	
ホワイトバランス	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定			
カスタムイメージ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
デジタルフィルター						×									
HDR撮影						専用 設定		×					×	×	×
バッファ RAW保存					×	×			×	×					×

*1 JPEG時 、RAW / RAW + 時

*2 最短撮影間隔10秒

特殊機能の組み合わせ制限

×：組み合わせ不可

		連続撮影	露出ブラケット	多重露出	インターバル撮影	デジタルフィルター	スマートエフェクト	HDR撮影
フラッシュ								×
ドライブモード	連続撮影		×	×	×			×
	セルフタイマー	×	×	×	×			
	リモコン連続撮影	×	×	×	×			×
	露出ブラケット	×		×	×			×
	多重露出	×	×		×	×	×	×
	インターバル撮影	×	×	×				
記録形式	RAW/ RAW+	📷固定		×				×
カスタムイメージ							×	
デジタルフィルター				×			×	×
スマートエフェクト				×		×		×
バッファ RAW保存		×	×	×				×

各種レンズ使用時の機能

Aグループ	01 STANDARD PRIME (単焦点) 02 STANDARD ZOOM (ズーム) 06 TELEPHOTO ZOOM (ズーム) 08 WIDE ZOOM (広角ズーム)
Bグループ	04 TOY WIDE (広角) 05 TOY TELEPHOTO (望遠) 07 MOUNT SHIELD
Cグループ	03 FISH-EYE (魚眼)
Dグループ	Kマウントレンズ用アダプター Q使用

○：使用可 △：機能制限あり ×：使用不可

機能 \ レンズ種類	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
AF	○	×	×	×
MF	○	○ ^{*1}	○	○
クイックシフトフォーカス	○	×	×	×
AF方式	○	×	×	×
MF時の自動拡大	○	×	×	×
絞り制御	○	×	×	△ ^{*2}
レンズ内蔵NDフィルター	○	×	×	×
レンズ内蔵シャッター	○	×	×	○ ^{*3}
電子シャッター	○ ^{*4}	○	○	○ ^{*4}
AUTO / SCN / BCモード	○	△ ^{*5}	△ ^{*5}	△ ^{*2}
P / Tv / Avモード	○	△ ^{*5}	△ ^{*5}	△ ^{*2}
Mモード	○	△ ^{*5 *6}	△ ^{*5 *6}	△ ^{*2}
⬮モード	○	△ ^{*5}	△ ^{*5}	△ ^{*2}
録画中のAF.C	○ ^{*7}	×	×	×
P-TTLオートフラッシュ	○ ^{*8}	○ ^{*9}	△ ^{*9 *10}	△ ^{*9 *11}

- *1 07 MOUNT SHIELDはピント合わせ機構なし
- *2 絞り手動設定
- *3 アダプターに内蔵されているレンズシャッターを使用
- *4 **C1**メニュー「1. レンズシャッターの動作」を「電子シャッターとの併用」または「電子シャッターのみ使用」に設定。「電子シャッターとの併用」に設定した場合、レンズ内蔵シャッターよりも高速側を電子シャッターで撮影
例) 01 STANDARD レンズの場合
1/2000秒以下はレンズ内蔵シャッターで撮影、1/2000秒超へを電子シャッターで撮影
- *5 絞り固定
- *6 **Bulb** モード不可 シャッター速度の低速側は2秒まで
- *7 06 TELEPHOTO ZOOMは不可
- *8 内蔵フラッシュ=1/2000秒、外付けフラッシュ=1/250秒
- *9 フラッシュ同調速度は約1/13秒
- *10 配光ムラが生じる
- *11 配光ムラが生じる場合がある

内蔵フラッシュとの適合

レンズによって、内蔵フラッシュの使用に制限があります。

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
02 STANDARD ZOOM	Wide端でケラレ発生のため、焦点距離6mm以上で使用
03 FISH-EYE	ケラレ発生のため、内蔵フラッシュ使用不可
08 WIDE ZOOM	レンズの画角をカバーしていないため、撮影条件によっては配光ムラが目立つ場合がある

フードについて

02 STANDARD ZOOMにフードを使用する場合は、PH-RBB 40.5mmを利用してください。PH-SBA 40.5mmでは、Wide端でケラレが発生する場合があります。

フィルターについて

02 STANDARD ZOOMに100PLフィルターを使用した場合、Wide端でケラレが発生します。

Kマウントレンズを利用する

別売のKマウントレンズ用アダプター Qを利用すると、本機にKマウントレンズを取り付けることができます。その場合「Shake Reduction」などに必要な焦点距離が自動で取得できないため、手動で設定する必要があります。

1 カメラの電源を切る

2 カメラにアダプターとレンズを装着し、電源を入れる

「焦点距離入力」画面が表示

3 レンズ焦点距離を指定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	数値変更
◀▶	桁選択
⦿	数値一覧から選択

ズームレンズ使用時は、ズームの焦点距離を設定

4 OKを押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- レンズ焦点距離は、**2**メニュー「焦点距離入力」で変更できます。
- Kマウントレンズ用アダプター Qを使用すると、**M**モード以外の撮影モードは**Av**モードで動作します。
- 詳細は、Kマウントレンズ用アダプター Qの使用説明書を参照してください。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュAF540FGZ／AF540FGZ II／AF360FGZ／AF360FGZ II／AF200FG／AF160FCを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などのさまざまなフラッシュ撮影ができます。

○：使用可 ×：使用不可

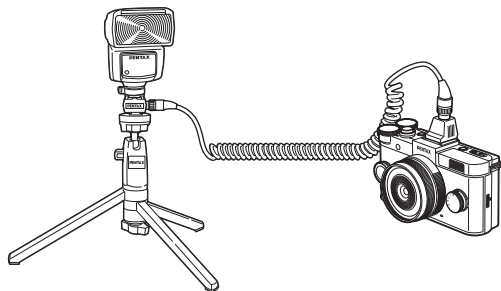
カメラの機能 \ フラッシュ	内蔵フラッシュ	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF200FG AF160FC
赤目軽減機能	○	○	○
フラッシュ自動発光	○	○	○
同調速度への自動切り替え	○	○	○
P／Tvモードで絞り値自動セット	○	○	○
P-TTLオートフラッシュ撮影	○	○	○
スローシンクロ撮影	○	○	○
フラッシュ光量補正	○	○	○
オートズーム連動	×	○	×
外付けフラッシュのAF補助光使用	×	×	×
後幕シンクロ撮影	○	○	×
光量比制御モード	×	×	×
スレープ機能	×	×	×
ワイヤレス撮影	×	×	×

●注意

- 外付けフラッシュを接続したときは、内蔵フラッシュは発光しません。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。

●メモ

- 本機のホットシューに外付けフラッシュを直接取り付けると、重心がずれて撮影しにくくなります。図のようにカメラのホットシュー部分にホットシューアダプターF_G（別売）を、外付けフラッシュの下にオフカメラシューアダプターF（別売）を付け、延長コードF5P（別売）で接続します。オフカメラシューアダプターFには三脚取り付け用のねじがあるので、三脚に固定できます。



- AF160FCの発光部をカメラに取り付ける場合は、市販のステップアップリングなどを利用してください。

フラッシュ使用時の同調速度

レンズ種類 (p.74)	同調速度	
Aグループ	1/2000秒以下 外付けフラッシュ使用時：1/250秒以下	C1メニュー「1.レンズシャッターの動作」を「電子シャッターのみ使用」設定時：1/13秒以下
	Bグループ Cグループ	
	1/13秒以下	

困ったときは

●メモ

- ・ 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないことがあります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが正しく入っていない	バッテリーの挿入方向を確認してください。
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
シャッターがきけない	内蔵フラッシュが充電中	充電が完了するまで待ってください。
	メモリーカードに空きがない	空き容量のあるメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってください。
ピントが合わない	オートフォーカスが苦手なものを被写体している	コントラストが低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、 AF が苦手なものです。撮りたいものと同じ距離にある別のものにフォーカスロックしてから、撮りたい構図で撮影します。または、 MF を使用してください。（p.39）
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してください。

現象	原因	対処方法
フォーカスロックできない	「AF方式」が  /  になっている	「AF方式」を  /  /  に設定してください。（p.38）
	SCNモードの  /  /  になっている	これらは「AF方式」が  固定です。左記以外の撮影モードに設定してください。
内蔵フラッシュが発光しない	フラッシュモードが  /  になっているときは、被写体が明るいときと発光しません	フラッシュモードを変更してください。（p.36）
	SCNモードの  /  /  /  /  /  になっている	これらは  固定です。左記以外の撮影モードに設定してください。
パソコンと接続しても認識されない	転送モードが「PTP」になっている	 メニュー「外部接続」の「USB接続」を「MSC」に設定してください。
撮影設定が変更できない	クイックダイヤルがポジション1～4になっている	クイックダイヤルを使って撮影しているときは、登録されている設定が優先されます。
画像にゴミが写り込む	CMOSセンサーに汚れやほこりが付着している	 メニュー「ダストリムーバー」を実行してください。電源ON/OFF時に毎回動作させることもできます。なお、プロアークで清掃する場合は、ブラシが付いていないものを使用してください。ブラシを使用するとCMOSセンサーが傷つくことがあります。また、CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。

現象	原因	対処方法
撮影画像や画像モニターの表示に、欠けや常時点灯する箇所がある	CMOSセンサーの画素に欠けがある	01 STANDARD PRIMEなど、シャッター内蔵のレンズにレンズキャップを取り付け、  4メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。補完処理は30秒ほど時間がかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません	メモリーカードの容量いっぱい画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存されていません
この画像を表示できません	本機で再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。 Eye-Fiカード使用時に、Eye-Fi機能の初期化が失敗しました。  を押してください。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使ったメモリーカードがセットされています。本機でフォーマットしてから使用してください。
カードがロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。(p.92)
この画像を拡大表示できません	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像はプロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクトされています。画像のプロテクトを解除してください。(p.68)

エラーメッセージ	内容
電池容量がたりないため ピクセルマッピングを 行えません	ピクセルマッピング／アップデート実行時にバッテリー容量が足りない場合に 표시됩니다。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量がたりないため アップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため実行できません。アップデートファイルを再度ダウンロードしてください。
ファイルが壊れているため アップデートを行えません	最大のフォルダー No. (999) / ファイル No. (9999) が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカードをフォーマットしてください。
フォルダーが作成できません	メモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できません。
画像を保存 できませんでした	マニュアルホワイトバランス調整に失敗しました。もう一度やり直してください。
正しく処理できませんでした	インデックス／選択消去／RAW展開／Eye-Fi画像選択は、上限枚数以上は選択できません。
これ以上 選択できません	デジタルフィルターを適用できる画像、またはRAW展開できる画像がありません。
処理できる 画像がありません	他のカメラで撮影した画像に対してリサイズ／トリミング／赤目補正／デジタルフィルター／動画編集／RAW展開／マニュアルWB登録／スマートエフェクト登録を実行した場合、または最小サイズの画像に対してリサイズ／トリミングを実行した場合に表示されます。
この画像を 処理できません	インデックスで画像の作成に失敗しました。
画像の作成に 失敗しました	

エラーメッセージ	内容
このモードでは 設定することができません	機能に制限がある撮影モードのときに、設定できない機能を設定しようとしています。(p.71)
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が切れます。しばらくしてから電源を入れてください。
Eye-Fi通信設定を セレクトにしてください	2メニュー「Eye-Fi」の「Eye-Fi通信」がセレクトに設定されていないため、選択転送ができません。(p.69)
転送できる画像がありません	Eye-Fiカード使用時に転送可能な画像がありません。
このフォルダーは 選択できません	選択したフォルダー内に規定以上のファイル数があるため、選択ができません。(p.70)

主な仕様

型式

型式	レンズ交換式デジタル一眼カメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット Qマウント
使用レンズ	Qマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター／CMOS サイズ：1/1.7型
有効画素数	約1240万画素
総画素数	約1276万画素
ダストリムーバル	超音波振動による撮像素子クリーニング機能「DR II」
感度 (標準出力感度)	ISO AUTO 100～12800 (1/3 EVステップ) ・ 2秒より長秒時はISO 1600まで
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式

記録形式

画像ファイル形式	RAW (DNG)、JPEG (Exif 2.3) 準拠、DCF 2.0準拠										
記録サイズ (画素数)	JPEG： <table border="0"> <tr> <td>4:3</td> <td> L 12M (4000×3000) M 7M (3072×2304) S 3M (1920×1440) </td> </tr> <tr> <td>3:2</td> <td> L 10M (4000×2664) M 6M (3072×2048) S 2M (1920×1280) </td> </tr> <tr> <td>16:9</td> <td> L 9M (4000×2248) M 5M (3072×1728) S 2M (1920×1080) </td> </tr> <tr> <td>1:1</td> <td> L 9M (2992×2992) M 5M (2304×2304) S 2M (1440×1440) </td> </tr> </table> RAW： <table border="0"> <tr> <td>4:3</td> <td> L 12M (4000×3000) </td> </tr> </table>	4:3	L 12M (4000×3000) M 7M (3072×2304) S 3M (1920×1440)	3:2	L 10M (4000×2664) M 6M (3072×2048) S 2M (1920×1280)	16:9	L 9M (4000×2248) M 5M (3072×1728) S 2M (1920×1080)	1:1	L 9M (2992×2992) M 5M (2304×2304) S 2M (1440×1440)	4:3	L 12M (4000×3000)
4:3	L 12M (4000×3000) M 7M (3072×2304) S 3M (1920×1440)										
3:2	L 10M (4000×2664) M 6M (3072×2048) S 2M (1920×1280)										
16:9	L 9M (4000×2248) M 5M (3072×1728) S 2M (1920×1080)										
1:1	L 9M (2992×2992) M 5M (2304×2304) S 2M (1440×1440)										
4:3	L 12M (4000×3000)										

画質	RAW (12bit)：DNG JPEG：★★★ (スーパーファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー) ・ RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB
記録媒体	SD／SDHC／SDXCメモリーカード、Eye-Fiカード
記録フォーマット	日付 (100_1018、100_1019・・・)／PENTX (100PENTX、101PENTX・・・)

画像モニター

形式	TFTカラーLCD、広視野角タイプ、ARコート
イメージサイズ	3.0型
ドット数	約46万ドット
調整	明るさ調整、色調整
表示	視野率約100%、電子水準器、グリッド表示 (16分割表示、黄金分割表示、スケール表示)、白とび警告表示、ヒストグラム表示

ホワイトバランス

オート	撮像素子によるTTL方式
プリセット	太陽光、日陰、曇天、蛍光灯 (D ：昼光色、 N ：昼白色、 W ：白色、 L ：電球色)、白熱灯、フラッシュ、 CTE 、マニュアル
マニュアル	モニター確認による設定 (3種類登録可)、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

フォーカス

方式	コントラスト検出式
輝度範囲	EV 0～18 (ISO 100)
フォーカスモード	AF ／ MF 切り替え式
AF方式	顔検出、追従、多点オート、セレクト、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光
MF時の自動拡大	オフ／×2／×4／×6

フォーカスアシスト	オフ/オン
-----------	-------

露出制御

測光方式	TTL撮像センサー測光、分割測光/中央重点/スポット
露出範囲	EV 1~17 (ISO 100・F 1.9レンズ使用時)、シャッター拡張設定で+2 EV、NDフィルター使用で+2 EV
露出モード	オートピクチャーモード (標準、人物、風景、マクロ、夜景人物、夕景、青空、フォレストを自動選択) シーンモード (人物、風景、マクロ、動物、夜景人物、夕景、青空、フォレスト、夜景、夜景HDR*、ナイトスナップ、HDR*、テーブルフォト*、料理、ペット、キッズ、サーフ&スノー、逆光シルエット、キャンドルライト、ステージライト、美術館) プログラム、シャッター優先、絞り優先、マニュアル、バルブ、ボケコントロール* *JPEG固定
露出補正	± 3 EV (1/3 EVステップ)
AEロック	メニューにて ○ / ● ボタンに割り当て可能
シャッター	レンズシャッター方式: 1/2000~30秒 (1/3 EVステップ、拡張設定の電子シャッター併用許可で1/8000~30秒)、バルブ ・レンズシャッター非搭載レンズでは、電子シャッターによる 1/8000~2秒、バルブは不可
絞り	開放~F 8 ・レンズシャッター非搭載レンズは設定不可
NDフィルター	オフ/オン ・レンズシャッター非搭載レンズは設定不可

ドライブ

ドライブモード	1コマ、連続 (Hi、Lo)、セルフタイマー (12秒後、2秒後)、リモコン (即、3秒後、連続)、露出ブラケット (3コマ、リモコン)、多重露出 (即、セルフタイマー、リモコン)、インターバル
---------	---

連続撮影	約5コマ/秒、JPEG (4:3 L 12M・★★★・連続Hi): 5コマまで 約1.5コマ/秒、JPEG (4:3 L 12M・★★★・連続Lo): 100コマまで
------	--

フラッシュ

内蔵フラッシュ	P-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約4.9 (ISO 100・m)、約7 (ISO 200・m)、28mmレンズの画角 (35ミリ判換算) をカバー
発光方式	P-TTL、赤目軽減、スローシンクロ、後幕シンクロ
シンクロ同調速度	レンズシャッター時: 内蔵フラッシュ 1/2000秒、外付けフラッシュ 1/250秒 電子シャッター時: 1/13秒
フラッシュ光量補正	-2.0~+1.0 EV

撮影機能

カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅、ポップ、チューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス
ノイズリダクション	高感度NR
ダイナミックレンジ設定	ハイライト補正、シャドウ補正
レンズ収差補正	ディストーション補正
デジタルフィルター	トイカメラ、ハイコントラスト、シェーディング、ドラマチックアート、ネガポジ反転、色抽出、ソリッドモノカラー、水彩画、ポストリゼーション、スリム、フィッシュアイ
HDR撮影	オート、Type1、Type2
多重露出	撮影回数2~9回、自動露出調整
インターバル	撮影間隔 (3秒~24時間)、最大撮影枚数999枚、開始トリガー (即時、時刻指定)
スマートエフェクト	極彩、ソリッドモノカラー、Auto110モード、アンティーク、さくらほのか、ドラマチックアート、ハードモノクローム、フェードカラー、あてみやび、USER 1~3

電子水準器	画像モニター表示（左右・前後の傾き）
-------	--------------------

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264
記録サイズ	FullHD (1920×1080・169・30fps/25fps/24fps) HD (1280×720・169・30fps/25fps/24fps) VGA (640×480・43・30fps/25fps/24fps)
音声	内蔵モノラルマイク
記録時間	最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅、ポップ チューン、ほのか、銀残し、リバーサルフィルム、 モノトーン、クロスプロセス
デジタルフィルタ	トイカメラ、ハイコントラスト、シェーディング、 ドラマチックアート、ネガポジ反転、色抽出、ソ リッドモノカラー、水彩画、ボスタリゼーション、 スリム、フィッシュアイ
インターバル動画	撮影間隔（3秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10 分、30分、1時間）、撮影所要時間（12秒～99時 間）、開始トリガー（即時、時刻指定）
録画中のAF.C	オフ/オン

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示（4、9、30、56画面）、拡大（最大16倍まで、スクロール可、クイック拡大可）、回転表示、ヒストグラム（Yヒストグラム、RGBヒストグラム）、白とび警告表示、縦位置自動回転、詳細情報表示、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショー
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去
デジタルフィルタ	ベースメイク、トイカメラ、ハイコントラスト、シェーディング、ドラマチックアート、ネガポジ反転、色抽出、ソリッドモノカラー、水彩画、ボスタリゼーション、スリム、フィッシュアイ、レトロ、デッサン、ミニチュア、ソフト、クロス

RAW展開	記録形式（JPEG）、アスペクト比、色空間、ホワイトバランス、カスタムイメージ、デジタルフィルター、増減感、高感度NR、シャドー補正、ディストーション補正
編集機能	リサイズ、トリミング（アスペクト比変更可）、インデックス、動画編集（分割および不要部分消去）、動画フレーム画像JPEG保存、赤目補正、バッファRAW保存

カスタマイズ機能

カスタムファンクション	16項目
モードメモリ	11項目
カスタムボタン	●/●ボタン（グリーンボタン、プレビュー、ワ ンタッチRAW+、AEロック、AF作動） クイックダイヤル（スマートエフェクト、アスペ クト比、フォーカスモード、フォーカスアシスト、 NDフィルター）
ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI68
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC115J（別売）
電池寿命	撮影可能枚数...フラッシュ 50%発光：約250枚、 フラッシュ発光なし：約260枚 再生時間...約160分 ・新品のリチウム電池使用、23°C、撮影枚数は CIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、 使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0/AV出力端子、HDMI出力端子（タイプD）
USB接続	MSC/PTP
ビデオ出力方式	NTSC/PAL

外形寸法・質量

外形寸法	約105.0mm（幅）× 58.0mm（高）× 34.0mm（厚） （吊り環、操作部を除く）
質量	約203g（専用電池、SDカード付き）、約183g（本体のみ）

付属品

同梱物	USBケーブル I-USB7、ストラップ O-ST131、充電式リチウムイオンバッテリー D-Li68、専用充電器 D-BC68P、ACコード、ソフトウェア（CD-ROM）S-SW151、スタートガイド <これ以降はカメラに装着状態で出荷> ホットシューカバー Fk、ボディマウントカバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

撮影可能枚数と再生時間

（バッテリーフル充電時）

使用電源	使用温度	一般撮影	フラッシュ撮影		再生時間
			使用率 50%	使用率 100%	
D-Li68	23°C	約260枚	約250枚	約240枚	約160分

- 撮影枚数（一般撮影、フラッシュ使用率50%）はCIPA規格に準じた測定条件、その他については当社の測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

（2GBのメモリーカード使用時）

アスペクト比	記録サイズ	JPEG画質			RAW
		★★★	★★	★	
16:9	L 9M	544枚	755枚	1264枚	103枚
	M 5M	908枚	1250枚	2060枚	—
	S 2M	2183枚	2939枚	4596枚	—
3:2	L 10M	461枚	641枚	1077枚	103枚
	M 6M	771枚	1064枚	1764枚	—
	S 2M	1871枚	2533枚	4010枚	—
4:3	L 12M	410枚	571枚	961枚	103枚
	M 7M	687枚	951枚	1582枚	—
	S 3M	1679枚	2281枚	3639枚	—
1:1	L 9M	547枚	759枚	1270枚	103枚
	M 5M	908枚	1250枚	2060枚	—
	S 2M	2183枚	2939枚	4596枚	—

- 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

都市名一覧

地域	都市名	ビデオ出力方式
北米	ホノルル	NTSC
	アンカレジ	NTSC
	バンクーバー	NTSC
	サンフランシスコ	NTSC
	ロサンゼルス	NTSC
	カルガリー	NTSC
	デンバー	NTSC
	シカゴ	NTSC
	マイアミ	NTSC
	トロント	NTSC
	ニューヨーク	NTSC
	ハリファックス	NTSC
中南米	メキシコシティ	NTSC
	リマ	NTSC
	サンティアゴ	NTSC
	カラカス	NTSC
	ブエノスアイレス	PAL
	サンパウロ	PAL
	リオデジャネイロ	NTSC
ヨーロッパ	リスボン	PAL
	マドリード	PAL
	ロンドン	PAL
	パリ	PAL
	アムステルダム	PAL
	ミラノ	PAL

地域	都市名	ビデオ出力方式
ヨーロッパ	ローマ	PAL
	コペンハーゲン	PAL
	ベルリン	PAL
	ブラハ	PAL
	ストックホルム	PAL
	ブダペスト	PAL
	ワルシャワ	PAL
	アテネ	PAL
	ヘルシンキ	PAL
	モスクワ	PAL
アフリカ・西アジア	ダカール	PAL
	アルジェ	PAL
	ヨハネスブルグ	PAL
	イスタンブール	PAL
	カイロ	PAL
	エルサレム	PAL
	ナイロビ	PAL
	ジッダ	PAL
	テヘラン	PAL
	ドバイ	PAL
	カラチ	PAL
	カブール	PAL
	マーレ	PAL
	デリー	PAL
	コロンボ	PAL

地域	都市名	ビデオ出力方式
アフリカ・西アジア	カトマンズ	PAL
	ダッカ	PAL
東アジア	ヤンゴン	NTSC
	バンコク	PAL
	クアラルンプール	PAL
	ビエンチャン	PAL
	シンガポール	PAL
	プノンペン	PAL
	ホーチミン	PAL
	ジャカルタ	PAL
	香港	PAL
	北京	PAL
	上海	PAL
	マニラ	NTSC
	台北	NTSC
	ソウル	NTSC
	東京	NTSC
	グアム	NTSC
オセアニア	パース	PAL
	アデレード	PAL
	シドニー	PAL
	ヌーメア	PAL
	ウェリントン	PAL
	オークランド	PAL
	パゴパゴ	NTSC

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開ができます。付属のCD-ROM（S-SW151）からインストールができます。

本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows 8.1（32bit／64bit）／Windows 8（32bit／64bit）／Windows 7（32bit／64bit）／Windows Vista（32bit／64bit）
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約 5MB（JPEG）または約25MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Macintosh

OS	OS X 10.9／10.8／10.7、Mac OS X 10.6
CPU	Intel Core 2 Duo以上
メモリ	2GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量： 約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約 5MB（JPEG）または約25MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、QuickTime が必要です。QuickTimeは下記アドレスからダウンロードできます。

<http://www.apple.com/jp/quicktime/download/>

記号

☑メニュー	15
📷メニュー	17
📺メニュー	17
🔍メニュー	18
Cメニュー	20
👤人物	30
🌄風景	30
🌸マクロ	30
🏃動体	30
🌃夜景人物	30
🌃夕景	30
🌃青空	30
🌲フォレスト	30
🌃夜景	30
🌃夜景HDR	30
📷ナイトスナップ	30
HDR HDR	30
🏠テーブルフォト	30
🍷料理	31
🐾ペット	31
👶キッズ	31
🏂サーフ&スノー	31
🌃逆光シルエット	31
🕯️キャンドルライト	31
🎭ステージライト	31
🎨美術館	31
👤モード	34

数字

1画像表示	11, 29
-------	--------

1コマ撮影	40
-------	----

A

ACアダプター	24
AEロック	64
AF	37
AF/MF設定	15
AFエリア	38
AF時のフォーカスリング	37

AF作動	64
AFの動作	38
AFフレーム	28
AF方式	38
AF補助光ランプ	7
AF補助投光	37
AFロック時のAE-L	20
Auto110モード (スマートエフェクト)	50
AUTOモード	28
AV機器	56
Avモード	32

B

BC	31
Bulb	33

C

CMOSセンサー	7
----------	---

D

DCカプラー	24
Digital Camera Utility 5	63, 85
D-Range設定	47

E

Eye-Fiカード	25, 69
-----------	--------

H

HDMI出力	56
HDMI端子	56
HDR HDR	30
HDR撮影	47

I

ISO感度	35
ISO感度ステップ	35

J

JPEG	45
------	----

K

Kマウントレンズ	75
----------	----

L

Language/言語	26
LCD設定	18

M

M/TAv時の動作	65
Macintosh	85

MF

MF時の自動拡大	39
Motion JPEG	44
Movie SR	17
MSC	77
Mモード	32

N

NDフィルター	16, 74
---------	--------

P

PC/AV 端子	56
PTP	77
P時の電子ダイヤル	65
Pモード	32

Q

QuickTime	85
-----------	----

R

RAW	45
RAW追加保存	16
RAW展開	63
RGBヒストグラム表示	12

S

SCN	30
SDメモリーカード	25
Shake Reduction	16
SRの自動オフ	40

T

TAvモード	32
Tvモード	32

U

USB	57
USB接続	77, 85
USER	50, 66

W

Windows	85
---------	----

あ

青空 	30
赤目補正	59
明るさ補正	47
鮮やか (カスタムイメージ)	48
アスペクト比	45
アップデート	19
あてみやび (スマートエフェクト)	50
アフターサービス	94
アンティーク (スマートエフェクト)	50

い

色空間	20, 69
色抽出 (デジタルフィルター)	49, 59
インターバル撮影	43
インターバル動画	44
インデックス	61

え

エコモード	19
エラーメッセージ	78

お

オートパワーオフ	26
オートフォーカス	38
音声	34

か

カードアクセスランプ	7
カードカバー	7
回転	55
回転情報の記録	55
ガイドナンバー	37
ガイド表示	28
外部接続	18, 56
顔検出 (AF方式)	38
拡大	29
画質	45
カスタムイメージ	48
カスタムメニュー	20
画像仕上	48
画像の自動回転	55
画像モニター	9
画面表示	18
感度	35

き

キッズ 	31
輝度ヒストグラム	12
機能制限	71
逆光シルエット 	31
キャンドルライト 	31
記録形式	45

記録サイズ	45
記録設定	45
銀残し (カスタムイメージ)	48

く

クイック拡大	17
クイックダイヤル	50, 66
クイックビュー	16, 28
グリーンボタン	64
○ (グリーンボタン) の動作	64
グリッド表示	16
クロス (デジタルフィルター)	59
クロスプロセス	49
クロスプロセス (カスタムイメージ)	48

け

言語設定	26
現在地	26, 67
現像	63

こ

高感度NR	35
光量補正	36
極彩 (スマートエフェクト)	50
コントロールパネル	10, 13

さ

サーフ&スノー 	31
再生情報表示選択	11
再生メニュー	17

再生モード	29
再生モードパレット	52
さくらほのか (スマートエフェクト)	50
撮影	28
撮影可能枚数	83
撮影情報表示選択	11
撮影待機状態	10
撮影日別表示	54
撮影メニュー	15
撮影モード	30
三脚ねじ穴	7

し

シーンモード	30
シェーディング (デジタルフィルター)	49, 59
絞り優先自動露出	32
シャッター & 絞り優先自動露出	32
シャッター優先自動露出	32
シャドー補正	47
充電	22
充電中のリリース	36, 41
仕様	80
消去	29
詳細情報表示	12
詳細設定メニュー	18
焦点距離入力	75
初期化	27
初期設定	26
白とび警告	16, 17
人物 	30

人物 (カスタムイメージ)	48
---------------	----

す

ズームレンズ	28
水彩画 (デジタルフィルター)	49, 59
ステージライト 	31
ストラップ	21
スピーカー	7
スポット (AF方式)	38
スポット測光	35
スマートエフェクト	51
スマートエフェクト登録	66
スライドショー	55
スリム (デジタルフィルター)	49, 59

せ

接続ケーブルカバー	7, 24
セルフタイマー撮影	41
セルフタイマーランプ	7
セレクト (AF方式)	38
全画像消去	17
選択消去	53

そ

測距点と露出の関連付	35
測光方式	35
外付けフラッシュ	76
ソフト (デジタルフィルター)	59
ソリッドモノカラー (スマートエフェクト)	50

ソリッドモノカラー (デジタルフィルター)	49, 59
-----------------------	--------

た

ダイナミックレンジ	47
ダイヤル	8
ダイヤル指標	28
ダイレクトキー	13
多重露出	43
ダストリムーバル	77
多点オート (AF方式)	38
端子カバー	7

ち

中央重点測光	35
--------	----

つ

追尾 (AF方式)	38
-----------	----

て

テーブルフォト 	30
ディストーション補正	16
デジタルフィルター	49, 59
デッサン (デジタルフィルター)	59
電源	26
電子音	18
電子シャッター	74
電子水準器	10, 16

と

トイカメラ (デジタルフィルター)	49, 59
動画編集	62
動画メニュー	17

動画モード	34
動作環境	85
動体 	30
都市名	26, 84
ドライブモード	40
ドラマチックアート (スマートエフェクト)	50
ドラマチックアート (デジタルフィルター)	49, 59
トリミング	58

な

内蔵フラッシュ	36
ナイトスナップ 	30
ナチュラル (カスタムイメージ)	48
夏時間	26, 67

に

日時設定	27
------	----

ね

ネガポジ反転 (デジタルフィルター)	49, 59
--------------------	--------

の

ノイズリダクション	35
-----------	----

は

バージョン情報	19
ハードモノクローム (スマートエフェクト)	50
ハイコントラスト (デジタルフィルター)	49, 59
配色	18

ハイライト補正	47
白熱灯下のAWB	20
パソコン	57
バッテリー	22
バッテリーカバー	7
バッファ RAW保存	29
バルブ撮影	33

ひ

ピクセルマッピング	78
被写界深度	33
美術館 	31
ヒストグラム表示	12, 16
ビデオ出力	56
ビデオ端子	56
ピント	37
ピントリング	39

ふ

ファームウェア	19
ファイルNo.	69
フィッシュアイ (デジタルフィルター)	49, 59
フィルター	49, 59
風景 	30
風景 (カスタムイメージ)	48
フェードカラー (スマートエフェクト)	50
フォーカスアシスト	39
フォーカスモード	37
フォーカス優先	20
フォーマット	27
フォルダー新規作成	68
フォルダー表示	54
フォルダー名	68

フォレスト 	30	ほのか (カスタムイメージ)	48
複数画像表示	53	ボリュームラベル	27
複数画像表示選択	53	ホワイトバランス	45
付属ソフトウェア	85		
ブラケット撮影順	42	ま	
フラッシュ	36, 76	マイク	7
フラッシュ収納時の発光	36	マウント指標	7, 21
フラッシュ発光時のWB	46	マクロ 	30
フラッシュポップアップレバー	36	マニュアルWB登録	46
フリッカー低減	18	マニュアルフォーカス	39
フレームレート	45	マニュアルホワイトバラン	46
プレビュー	33, 64	マニュアル露出	32
プログラム自動露出	32		
プロテクト	68	み	
分割測光	35	ミニチュア (デジタルフィ	
分割表示	29, 53	ルター)	59
		雅 (MIYABI) (カスタムイ	48
		メージ)	
へ			
ベースメイク (デジタル		む	
フィルター)	59	無線LAN	69
ペット 	31		
ほ		め	
ボケコントロールモード	31	メニュー	14
		メニュー選択の記憶	14
保護	68	メモリーカード	25
ポストリゼーション (デジ			
タルフィルター)	49, 59	も	
ボタン	8	モードダイヤル	28
ホットシュー	7	モードメモリ	67
ポップチューン (カスタム		目的地	67
イメージ)	48	モノトーン (カスタムイ	48
		メージ)	

や		ろ	
夜景 	30	録音レベル	17
夜景HDR 	30	録画可能時間	34
夜景人物 	30	録画中のAF.C	34
		露出	35
ゆ		露出設定	17, 34
夕景 	30	露出バー	32
		露出ブラケット	42
ら		露出補正	32
ライブビュー	10, 16	露出モード	32
り		わ	
リサイズ	58	ワールドタイム	67
リセット	19, 20, 69	ワンタッチRAW+	64
リバーサルフィルム (カス			
タムイメージ)	48		
リモコン撮影	42		
リモコン時のAF	42		
リモコン受光部	7		
料理 	31		
れ			
レトロ (デジタルフィル			
ター)	59		
レバー	8		
リリース優先	38		
レンズ	21, 74		
レンズシャッターの動作	74		
レンズ焦点距離	75		
レンズ情報接点	7		
レンズ取り外しボタン	21		
連続再生	55		
連続撮影	41		
連番設定	69		

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

本体について



警告

- カメラの分解・改造などをしてしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。

- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて



警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにはこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。



注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC68Pで充電式リチウムイオンバッテリーD-LI68以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとする、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

⚠ 警告

- ・バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- ・本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- ・バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- ・万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- ・バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- ・バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- ・バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ・発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

⚠ 警告

- ・カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
 2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
 3. バッテリーや SD メモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- ・長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- ・バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- ・バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- ・充電は使用する当日か前日にご使用をお勧めします。
- ・本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC68P専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- ・高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- ・強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- ・カメラの使用温度範囲は0～40℃です。
- ・高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- ・低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもあります。これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。

- ・ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- ・破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- ・三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

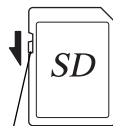
- ・汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のプロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- ・CMOS センサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。(有料)
- ・高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- ・防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- ・静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ・急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- ・SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- ・カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- ・SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- ・SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- ・SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- ・SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- ・長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- ・SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- ・未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- ・フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- ・SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。



Eye-Fiカードについて

- ・本機は無線LAN機能を内蔵したSDメモリーカード「Eye-Fiカード」が使用できます。
- ・無線LANで画像を転送するには、アクセスポイントの利用とインターネット環境が必要です。詳しくは、Eye-Fiのホームページを参照してください。(<http://www.eyefi.co.jp>)
- ・Eye-Fiカードは、最新のファームウェアに更新して使用してください。
- ・航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないか、「Eye-Fi」の設定を「オフ」にしてください。
- ・Eye-Fiカードの使用が認められているのは、カードをご購入された国のみです。使用する国の法律を遵守してください。
- ・このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をオン/オフする機能がありますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
- ・Eye-Fiカードの使用方法是、Eye-Fiカードの使用説明書を参照してください。
- ・Eye-Fiカードに関する不具合等は、カードの製造元へお問い合わせください。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
Eye-Fi、Eye-Fi connected、およびEye-FiロゴはEye-Fi, Inc.の登録商標です。
この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンスの商標または登録商標です。
SILKPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。

PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。



AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- 個人利用の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口にご連絡ください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中〔ご購入後 1 年間〕は、保証書〔販売店印および購入年月日が記入されているもの〕をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・ 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
 - ・ 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
 - ・ 火災・天災・地変等による故障
 - ・ 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
 - ・ 修理で依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
 - ・ お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

フォトスクール・写真クラブのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/family/>

ペンタックスリコーファミリークラブは、弊社製品をご愛用いただいている方に向けての、弊社が主催する写真クラブです。クラブ誌や会員公募による写真年鑑の発行のほか、各種フォトスクールを開催しています。たくさんの会員特典や楽しい企画でああなたのフォトライフをバックアップします。詳しくは、ホームページをご覧ください。ペンタックスリコーファミリークラブ事務局までお問い合わせください。

**Pentax Ricoh
Family Club**

ペンタックスリコーファミリークラブ事務局

TEL 03-3580-2060 FAX 03-3580-2065

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

営業時間 9:00～17:00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ショールーム・ギャラリーのご案内

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/community/>

リコーイメージングスクエア新宿（修理受付可）

TEL 03-3348-2941 FAX 03-3345-8076

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間 10:30～18:30（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア銀座

TEL 03-3289-1521

東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター 9階

営業時間 11:00～19:00（毎週火曜日、年末年始、ビル点検日を除く）

リコーイメージングスクエア大阪

TEL 06-6271-7996（代）

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9:00～17:00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。

本製品に関するお問い合わせ

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/>

お客様相談センター

**ナビダイヤル 0570-001313**

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0008 (代)

営業時間 9:00~17:30 (平日) 10:00~17:00 (土・日・祝日) (年末年始、ビル点検日を除く)

修理受付

<http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html>

修理受付センター／ピックアップリペアサービス申し込み

**ナビダイヤル 0570-001301**

(市内通話料金でご利用いただけます。)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、右記の電話番号をご利用ください。TEL 03-4330-0014 (代)

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

※ ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです(全国一律料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。

なお、弊社修理受け付け後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

修理受付窓口【宅配】【郵送】

TEL 03-3966-6121 FAX 03-3960-5158

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階 リコーイメージング株式会社 東京サービスセンター内

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

東京サービスセンター【窓口】

TEL 03-3960-5140 (代) FAX 03-3960-5147

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡビル3階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

大阪サービスセンター【窓口】【宅配】【郵送】

TEL 06-6271-7996 (代) FAX 06-6271-3612

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 9:00~17:00 (土・日・祝日、弊社休業日を除く)

リコーイメージング株式会社

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。
53084

R01DTF14

Printed in Philippines